京城日報

定價 本紙 每月前金壹圓廿五錢▲三ヶ月同參圓六拾錢▲六ヶ月同七圓▲郵券代用一割增
廣告料金 五號十四字詰一行一圓卅錢▲特別二號七字詰同二圓六十錢▲四號九字詰同二圓六十錢▲六號十六字詰金一圓三十錢
發行兼編輯人 大原利武
印刷人 小川三之介
京城太平通二丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番・長六千九番二 (振替京城三〇〇)

滿鮮問題益發展

閔元植事件に關係あり

(京東電)……近く日本……伊勢山田近に於ては鮮人を逮……

臺灣みやげ

●大山總督府囑託

……部さ警察部さがあつて……少しく……以て居る……の內部が……觀は一向整備せず……不完全の……にして……せる京城の公設市場なぞ……のにならぬ一般衞生的施設が完全で……本日は一般降……

京城日報

不信任案否決

憲政會一派の現出に係る齋藤總督不信任案は、去九日の衆議院本會議に上程されしも大多數を以て否決された。不信任案提出の理由として、彼等の說明する處に依れば、去廿五日の本會議席上中野正剛君提出の『朝鮮統治に關する調査機關設置の建議案』理由の說明に當り、齋藤總督が會議半にして退席したのは、朝鮮統治に對し誠意がないのみならず、吾々議員を侮辱したと云ふのである。斯は一應尤もらしい理由ではあるが、齋藤總督の辯明にもある通り、當日總督は他に餘儀なき公用ありし爲め、後事を政府委員に託して退席したのである。事情を知らぬ反對黨から是を見れば、如何にも同總督は故意に退席したかのやうに見ゆるけれども、事實は決してさうではないのである。然るに反對黨は此の些々たる事柄を捉へて、殊更に同總督の不信任案を提出し、以て同總督を傷けんとしたのは、重大なる政治上の陰謀があつたからである。其の陰謀とは何んであるかと云へば、同總督をして後繼內閣を組織せしめぬやう豫め妨害を試みたのである。

後繼內閣は果して何人に依りて組織せらるゝやは素より斷言することが出來ぬけれど、齋藤總督も有力なる候補者の一人であることだけは疑ひを容れぬ所である。無論總督自身には後繼內閣を組織しやうなどと云ふ野心は毫末もないのみならず、假りに後繼內閣の首班として推薦せらるゝありとするも、絕對に之を受けぬことは想像するに難くないのである。然しながら反對黨から之れを見れば、後繼內閣を組織するものは、什麼しても政友會と諒解のある者でなければならぬ、牧野伸顯子は此の點に於て最も適任者であるが、既に宮相に就任した以上、お鉢は當然齋藤總督に廻るものと信じてゐる。若し愈同總督が內閣を組織するやうなことがあつては、憲政會は益窮境に陷らねばならぬ。即ち齋藤內閣は政友會內閣と同樣憲政會にとつては、一大鬼門なのである。

ソコデ此の際齋藤總督にケチを付けて置けば齋藤內閣は實現せず、お鉢は或は憲政會總裁加藤高明子に廻らぬものでもない。假に加藤子にお鉢が廻らぬものとするも、齋藤內閣よりは自黨に有利な內閣が出來るかも知れぬとの考へから、遂に名を退席問題に藉りて、同總督の不信任案を提出したのである。其心事の陋劣なる其手段の卑劣なる、加減に呆れざるを得ない。而して席上小山松壽君や三木武吉君は、齋藤總督の統治方針を攻擊したけれど、憲政會總裁加藤高明子は昨年十月の東北大會及本年一月廿一日の代議士會席上に於て自ら齋藤總督の施政方針に贊成の裏書をした。獨り加藤總裁のみならず、齋藤總督の統治方針に對しては國民の多數も亦贊成して居るのである。殊に鮮人の如きは現總督の文化政治に對し、衷心より悅んで居ると云ふ程であるのは、多少朝鮮の事情に通じた者は、何人も認むる處である。然るに小山君や三木君の如き何等朝鮮の事情に通ぜざる者が、齋藤總督の統治方針に對し、彼是批難を試むるに至つては、實に笑止千萬な次第である。彼等の總論は所謂反對せんが爲の反對論であつて、毫も執るに足らないのである。殊に三木案の如きは、齋藤總督が朝鮮に於て何事か政治上の罪惡を爲したるが如き毒舌を弄し、更に大正三年のシーメンス事件を引用して、同總督も之に關係あるが如く推斷し、飽迄同總督を中傷せんとするに至つては無責任も亦甚だしと云はねばならぬ。齋藤男は……赴任以來、何等責むべき點なきは、何人も認むる處である、而も尙ほ之に對し大罪惡を爲したるが如く誹謗するに至つては、實に沙汰の限りと云はねばならぬ。若し夫れ彼のシーメンス事件に至つては、讒誣中傷の最も甚だしいものである。當時齋藤總督は海軍大臣として飽迄同問題を糺明せんとし、時の法相奧田義人男に對し、苟も不正ある者は、毫も假藉なく檢擧せられたしと申入れたのであるが、奧田法相が其地位を去るに至り、後繼內閣即ち大隈內閣の法相尾崎行雄氏に對し、特に齋藤海相の申入れを口頭にて引繼いだのである。此の事は今尙尾崎氏が能く記憶して居る筈である。シーメンス事件當時に於ける齋藤男の行動が如何に公明正大であつたかは、此の一事で明瞭なのである。此の間の消息は多少事情に通ずる者の何人も知る所である。然るに反對派は今尙ほ齋藤總督も之に關係ありし如く吹聽し、以て政權爭奪の具に供せんとするに至つては、實に言語同斷と云ふの外はない。政友會及國民黨が、該不信任案に反對し、大多數を以て之を葬り去つたのは、素より當然のことである。

日本國體論 (五)

帝國大學教授 文學博士 三浦周行氏(講演速記)

其の國民自身としては或は却て氣の付かない事があつて國民性を異にして居る所の第三者から云はれて成程然う謂ふ點もあるかこ思ふ樣な事が往々あるのであります。武士道こいふ樣なものも之が大變八釜敷なつたのは日本人が言つたのではなくして却て西洋人が言い始めたのである。夫れ迄日本人自身は夫れは當然のことであるこして敢て之を八釜敷く申さなかつた。然るに却て其國體を異にする所の他の國民性から考へて見る時は實に是が特異のものであり又其の

國民の特質

であるこ云ふ風に言つて活き〳〵こして之を唱導するこ云ふことになつた。所の如く吾々が祖先に感謝し亦之を自身に記憶し尙後世の子孫に迄も傳へやうこ云ふ此の貴い國民性こ云ふものを國民自身は反て之を自覺しないこ云ふやうなこともあるのであるからして私は今暇りに第三者こなつて妥に冷靜なる見地から自分の考察を述べて見たいこ思ふのであります。第一に考へなければならぬことは

祖先崇拜こいふここ

此のことは誰しも人の本能であつて人間が原始的生活に於て既に持つて居つた所の思想であり又夫れからして此の所謂家族制度こいふやうなものが出來て來るのであつて而して此のハウスホールこいふものゝ中心こなるものは即ち祖先崇拜の思想である。是は今日に於ては東洋獨特の道德であるかの如く西洋では察せられて居るけれども成程東洋に於いては支那が然うである彼の孝は百行の本であるこいふ道德を以て立つた支那は素よりの又朝鮮に於ても印度に於ても我日本は申すまでもなく

總て東洋に於ては然

うであるが然ぞ知らん西洋に於ても其希臘羅馬の昔に遡つて考へれば矢張り同じである。唯西洋人は基督教に依つて昔の道德の信仰思想こ云ふやうなものを悉く蹂躪せられて終つたからして夫れを復原して昔の狀態を偲ぶこ云ふやうな餘力がないであるから知らないのであるが希臘羅馬の昔に於ては少しも東洋の夫れこ變つた所はなく矢張我々東洋人こ同じく家族制度が行はれ而して其の

家族制度は

祖先崇拜に依つて行はれて居つたものである。其の一例こして日本では竈の神を生活の神こして尊ぶ如く倍度希臘に於てもヘルス竈の神を尊ばないものはない然うして祖先は神こして長く子孫を護るものであるこして崇拜して居つた事實こいふものは東西符節を合するが如くである又夫れをするのは當然であつて苟くも人間が其の親を尊び其の親を尊ぶより以上又進んで其の祖先を尊ぶのは是れ人間の本能である。然るに

人爲の道德

偶數こ云ふものが出て人間の祖先以上のものを神こして之を崇拜するこ云ふこここになつて來た。するこ然ふ幾つもの多神を崇拜するこ云ふここは宜しくないこ云ふ所からして一神敎が出て段々祖先の神こいふ者は排斥して了して唯一の神を崇めるこいふここになつたのである故に希臘やローマの昔に於ても始めは矢張り祖先の神々が祀られてあつたのである然るに其處へ恰も

日本へ佛敎が入つて

固有の祖先敎こ妥協したやうに矢張り彼等祖先の神々を自分の神々の中に集合して然うして之を祀ることになつて居た其の信仰を打破つて終つて然ういふ固有の神々は皆外道である惡魔であるこ是れを排斥して然うしてヤッタ一つの神こ云ふものを尊信しなければならないこ云ふ風になつて參つたのである

鑛業振興策(下)

小林藤右衞門

右直接的二策の實行容易ならずこせば間接的方策こして左の二策の內の一を實行せられんここを切望す

ハ、金銀、其他國家の最も必需鑛產に付き其生產額に應じ獎勵金を下附する事

ニ、金銀其の他國家の最も必需鑛產を目的こせる鑛業經營者に其の使役勞働者工數に應じ獎勵金を下附する事

以上の內自分は此ハ案を以て目下の時勢に最適なる方策なりこ信じ其實行を切望する者なり。之れ一面には勞働者保護の社會政策こなる耳ならず特に鑛業勞働者の重なる者は坑內夫にして他一般の勞働者こ異り常に坑內にて作業し自然が我々人類に生物に與へたる無限量の新鮮なる空氣こ暖たき日光の恩惠を疎隔限定せられつゝ國家的勞作に從事する彼等に對し國家が相當の報勞すべきは至當の施措こ云はざるべからず而も國家は此至當の施措を履行して、他面に鑛業の殷盛、勞働者救濟の二政策の良果を擧げ得るものこす其方法の一例を擧ぐれば

一、鑛業勞働一工に付き一定の獎勵金額を(賃金に對する比率)制定し鑛業權者をして賃務を負擔せしむ。

國家が下附する獎勵補助金は左の區別に依り鑛業權者に交附するものこす。

一箇年一作業區域內に於て使役する勞働總工數一萬工迄は其獎勵金の全額

同一萬工以上十萬工迄其の工數累加に從つて遞減し十萬工以上は補助金を下附せず凡て鑛業權者の負擔こす。

獎勵金を受くる者は內鮮人に限ることは勿論なり。

勞働工程增進の計を立つる事

尙一般鑛業に就て從來の本番請負制度に代ふるに半受負制より漸次全受負制度に改め更に進んでは勞役者に利益分配制を實施せしむる樣經營者に推獎し或程度までは其の指導に强制力を付與し勞働者技術者資本主こが相互に全利益の平衡分配を成すの域に達せしむることを期すること。(完)

雜誌抄

食物の營養素

木村理學博士

最近また食物の營養素に付て新しき說が出て來た。英國リスター研究所の戰後の研究に依れば營養の本體は從來唱へられて來た蛋白質脂肪および含水炭素にのみ限られてゐない、補助營養素こいふものがなければ人間の營養は足らないこいふのである。この補助營養素は蛋白質でも脂肪でも含水炭素でもない、一種の酵素の如きものであるこされたつたそして之がやはり蔬菜新鮮の肉類、卵などの中に含まれてゐる事がわかつた是は二別して熱に耐ふるものこ耐へないものこあるが斯うなるこ調理法に注意して養過ぎないやうにしなければいけない。(電氣こ文藝)

早春吟

大正十二、十一

○春雪　雉子郎
春雪や手紙書き居るに庭より兒
大火後の温泉宿並び建つ春の雪
○蝸牛
春雪や錨沈みし濠の池
○小琴
春雪や荷重く著きし門の牛
○阜汐
淡雪に閉さし來て下駄打てり
○昌山
鷄舍までの淡雪掃けば牛乳來る
○三面郎
春雪に下る菜舶の靜かさよ
○緑童
鳥鴉來る淡雪止みし日の芝生
○俚人
開らく余の明るさうれし春の雪
○春樹
各々の影持ちて春の雪庭木
○橙黄子
遲々の枝の春雪落ちず目もすがら

印刷局 職員錄 市內三圓五十錢 地方三圓九十二錢 送共
大正十年 朝鮮事情要覽 總督府編 一二〇
露國境市虐殺の眞相 稱金太郎 一九八〇
勞農露國より歸りて 布施辰治 一三〇
茶道美談 熊田葦城 一二〇
ペンの踊 近松秋江 貳圓七十五錢
空しき靑春 三上於菟吉 一五四
野聖 宮崎安右衞門 一六五
情と泉の路子 徳永壽美子 一九八
寫眞のうつし方 大塚貞治 一七七
最新寫眞術 淺沼藤吉 菊池東陽 三十一錢
出來る打方 ボール新品入荷 五十錢
送料御負申受候
京城本町一丁目 大阪屋號

本邦創始 製圖家養成講習錄
最新式通信教授にて收入多大なる製圖の實力を短期に養成す 詳細規則無代進呈 東京京橋南傳馬町二丁目 通信工手學校

私立 電機學校 生徒募集
本科一ヶ年 夜間部高等科 實驗設備あり ●申込三月末日限 ●規則書無料送附
校外生及聽講生も許す 東京神田區錦町三丁目十八番地

京城本町一丁目 株式會社 大澤商會京城支店
營業案內
時計及貴金屬
寫眞機及材料
自轉車及附屬品
電話長一六二番三三九番長四八〇番 振替口座京城一三二一番

最新刊 忽再版
!!!立憲國民の必讀書!民權思想の指導書出づ!!!
犬養毅閣下題字 尾崎行雄閣下題字
前內務省社會局長 池田宏閣下序
千葉胤義氏著
佐倉義民 木內宗五郎
◆佐倉宗五郎は日本帝國の大民權家なり國家皇室の大忠臣なり憲法政治の大恩人也
◆方今思想界動搖の時宗五郎の如き偉人の史蹟を探ぬるは新時代に處する教訓なり
◆本書は著者が多年の研鑽を重ねて得たる苦心の結晶にして義人宗五郎の正傳なり
◆文章平易通俗總振假名附にして何人にも面白く讀まるゝ家庭の好讀物として薦む
定價 上製 金貳圓 並製 金壹圓五拾錢 送料 金八錢
發賣所 東京市神田區表神保町三 東京堂 振替口座東京二七〇番
發行者 橫濱 杉本米吉

商業登記公告
朝鮮銀行(變更) 理事片山繁雄ハ大正拾年參月四日東京府豐多摩郡代々幡町大字代々木九百拾五番地ニ轉居セリ
右大正拾年參月九日登記
京城地方法院 仁川支廳

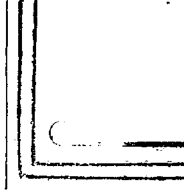
內科 小兒科 外科 花柳病 松本醫院 仁川宮町 ×光線科電氣科電話三四五番

五十円あれば吳服屋が出來る!
男でも女でも手がるに出來る安全で利益が多い取引の規定郵券三錢御送付あれ
東京織物問屋 東京九段 久保商本店

初めて發明された新案特許五五七三四號
圍碁速成上達新法
ドンナ素人でも驚く程メキメキ上達しヂキ初段二段にもなれる
新式發明方法を先着五百名に自己の研究用開放教授す 入會希望者はかきにて申込まれよ規定書呈す
東京市神田區表猿樂町二十五 新式碁將研究會

合服ト春オーバー
地新著
弊店特約のロンドンオーガストドーメーコンパニーと日本毛織株式會社から色目、柄合地質の三拍子揃つた大正十年度代表的品々が夥しく入荷致しました而も値段は昨年に比し三割安で最早や洋服の値段も安定致しました今直ちに丁子屋へ‼電話二三番へ‼丁子屋へ‼電話二二〇番へ
地方御一報次第見本贈呈
京城南大門通 丁子屋洋服店 電話二二三 二二〇番

日本養鷄社主 小須賀一郎 貳拾ヶ年の秘密研究公開
年中連續產卵保證 版權所有(第三版)(家鷄を最も有利に飼ふ新法)
六疊一室 百拾貳羽飼養法



特價五拾錢 代金引換は壹圓八拾錢○居宅拂は壹圓八拾五錢
北鮮地方に於て本書は極めて有利に養鷄し得らるゝ法は東西他に類なし左に本法の特點及目次を示さん
(特點)●一羽必らず一ヶ年二百五十個以上を產卵し玉子の最も高價なる嚴寒中も多產す●室內飼なるが故天氣の不順に左右されず夏秋の候換羽せずして多產する事を保證す又(最高)一錢、一ヶ年の利益は確實なり保證す●たつた四羽飼へば一ヶ年千個以上の卵を產む……
(目次)▲本書公開の理由▲利益千圓を得る標準▲萬人の疑惑する諸點▲乳牛の飼料……
實驗室 五圓本社には實驗室があり實驗料……
本社のポートリー養鷄(月刊雜誌)最新知識の寶庫 傳號見本五錢、三ヶ月四十二錢、六ヶ月八十四錢
理想最新 去勢器(定價六圓)一羽も殺さず容易く出來る出來ねば戾す
東京市表猿樂町十七 振替東京四一二六六番 日本養鷄社

鳩居堂ノ自信セル製品

第一學期ノ御用意ハ如何
學生諸君ハ清新ナル頭腦ヲ以テ新學期ニ鳩居堂ハヨクカケル筆墨ト繪ノ具ヲ以テ學生諸君ニ
□中學校用 習字筆大 廿參錢 同小 拾五錢 水彩畫筆 廿參錢 圖畫筆 五拾錢 繪ノ具大器八色 一圓卅錢 □高等女學校用 習字筆大 廿參錢 同小 拾五錢 先生筆 廿五錢 春 墨 拾五錢 繪ノ具大器六色 壹圓
□小學校用 習字筆高等科用 拾錢 同尋常四五六年用 九錢 同一二三年用 八錢 習字筆散毫 拾五錢 細字用作文水筆 八錢 高等科三種組合 廿五錢 尋常科用墨 廿參錢 天貼用墨 拾五錢 模天貼 六錢 繪ノ具六色 廿五錢
目錄御報次第呈送
京都寺町 振替大阪六三八 熊谷鳩居堂

東宮殿下の御動靜

不夜城の香港

御到着の夜の大電燈飾 在留邦人の奉迎

（香港十日發電）東宮御召艦入港に先だち當地在留民側の奉迎準備は昨日を以て全く整ひ山の手の日本總領事官邸より海岸通りの東京ホテル、植月洋行にかけ大イルミネーションを點じ香港市街は未曾有の壯觀を呈したるが恰も殿下に於かせられては異郷に於ける第一夜にあらせられ艦上より眺めさせ給ふ殿下の御感興の程さこそと拜察せらる

香港太守 御召艦に伺候

（香港十日發電）午前九時半香港太守は御召艦香取に伺候し十時殿下には英艦に太守御答訪あらせられ十時半英國官吏に對し御召艦にては御晩餐あり午後七時太守官邸にて御晩餐會開催につき閑院宮殿下御名代として御出席あらせらる

東宮御上陸 十一、二の兩日

（香港十日發電）本日正午小栗中將公式に上陸せるも東宮殿下には御上陸あらせられず御豫定を變更遊ばされ十一日及十二日に御上陸あらせらる

英海軍の大招待會

（香港十日發電）英國海軍にては香取鹿島乘組將校及び水兵二百名宛を兩日に亘り接待し茶菓の饗應をなし且活動寫眞を觀覽せしむる筈なり又我が領事館にては十一日乘組將校を主賓として在留官民の主なるもの六百名を招待し茶話會を催す筈なり

御豫定 香港御發艦は十三日

（香港十一日發電）東宮殿下御動靜御豫定左の如し

△十一日 英艦に乘御ストーンカッター島に御成午後二時半より四時迄風島にてアットホーム

△十二日 午前英艦にてスタンレー灣に御成。同軍艦にて御晝餐午後六時領事官邸にて茶話會七時御召艦香取にて英國香港太守以下の官吏を晩餐會に御招待

△十三日 午前御出港

第四十四回帝國議會

貴族院本會議（十日）

原首相の昇格釋明

午前十時十五分諸般の報告ありて開議

上山滿之進氏（議事進行に就て發言を求め）目下の處法律案四十五件豫算案の二十六件其他衆議院に於て審議中のものもあり會期切迫したる今日斯かる多數の議案殘存するは會期半をすぎて政府が多數の議案を提出せられたるも其の原因の一なり予は國政運用上甚だしく遺憾に堪へず政府は此多數の議案を如何にして處理せんとするか原首相の責任ある答辯を望む

原首相 法案を會期半にして提出する事は常にある事にして政府は考慮を怠らざるも何分後れ勝ちとなれり將來注意すべし

と陳辯大に力むる所ありて

江木翼氏 政府は會期切迫の今日多數の法案を提出し其の多數は審議未了なるが會期延長の意ありや（と質し）

原首相 會期延長は實際問題なるを以て其の必要あれば其の方法を取るべきも今日の所にては成るべく御審議を急がれん事を希望す

と答へ次いで日程に入る

第一、[illegible]井重季男請暇の件 異議なく許可

原首相（登壇）此際一言致したい事があります先般より學校紛糾問題に就て當院に於て建議になりました事は其の當時御答へ致しました如く政府に於ても此の學校問題をなるべく早く解決する事を希望して居るのでありまして私の手許に於て大體の案を定め所謂骨組を立て更に教育調査委員に諮問の上提出する筈であります又風紀問題は之も建議案の趣旨の中に含蓄すると承知致しまして風紀問題に就ては豫算總會に於て政府の所見を述ぶる機會を得ませんでしたから此の席に於て申上げます即ち政府は風紀問題に就ては從來とも留意を怠つた譯ではありませんが尚將來一層の注意を致し各部局にも戒飭を加へるつもりでありますから之も御諒解を願ひます

中橋文相 私からも此の際一言致しますが學校問題は只今總理大臣の申された通りであります又風紀問題は今後當局に於ても特に注意を加ふべきは申す迄もありませんが從來とても怠つた譯ではありません今後は尚注意を用ひます又學校騷動の事は數年前迄紛糾して起つて居つた事相違はありませんが併し最近の事情は當局に於て計畫中の一部が他に漏洩致しましたため一層の紛糾を加ふるに至りましたので監督上注意の至らぬ點もありますから此邊は私に於ても十分注意し又部下に對しても注意を加ふる考へでありますから宜しく御諒解を願ひます

中橋文相問責決議案を上程する前日を以て首相文相は突然右の釋明を試みたり

德川議長 特に首相文相の釋明に就ては通告者あるも成るべく質議に止められたし

酒井忠亮子 首相文相は將來十分なる決心を以て昇格問題風紀問題を解決せんとするの意ありや

原首相 十分注意して解決に盡力すべし

阪谷芳郎男 只今の釋明には決して滿足する能はず既に過日來百數十名の署名を得て決議案を提出せる今日突如不徹底なる釋明を試みられしは抑も如何なる考へなりや或は決議案の撤回をなさしめんとするものなりや其の眞意疑ひなき能はず

原首相 政府に於ては決議案に對し彼れ是れ申せしにあらず只單に適當なる處置を求められたるにつき今日之が釋明を望み諸君の諒解を乞はんとする次第なり

阪谷男尚ほ『不滿足なり』と述ぶ

次いで仲小路廉氏同樣の質問をなし

原首相 先刻の釋明は建議案の趣旨によれるものなり

と重ねて答ふ此時

德川議長 仲小路君のは御質問ですか

と問ひたるも仲小路氏は一切夫れには構はず述で立て議長『質問ですか』と繰返したるが仲小路氏『之にて質問を終ります』と述べ滿場哄笑す次に

江木千之氏 政府は決議案の裏を掻きたるも余等は飽迄其の不信を責めんとす一時逃れの詭辯に迷はさるゝものにあらず

德川議長 江木君に質議に止むべしと云はれたれば他に罪言の要なかるべし後日のため德義に注意ありたし

江木氏 德義は守り居れり

德川議長 一般議場のため申上たるものなり

これにて江木氏質問を打切り次いで

藤村義朗男 文相が計畫を漏洩したるものありと云へるは果して何人なるや

[illegible]相 今日迄取調べたるも判明せず甚だ遺憾に堪へず

と述ぶ

藤村男 文相が職務上秘密を漏洩するものを出さしめたるは相當責任あり文相の所見如何

中橋文相 漏洩せるは遺憾なりと（のみ述ぶ之にて日程に入り）

第二、大正九年度歲入出豫算追加（特第一號）

第三、大正九年度特別會計歲入出豫算追加（特第一號）

第四、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件追加（特第一號）

第五、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件（特第一號）

第六、大正十年度各特別會計歲入出豫算追加（特第一號）

以上五案審査期間を定むの件

右一括高橋藏相より衆議院同一の說明あり質問に入る

若槻禮次郎氏 政府は本案により信州上一番の價格を一千五百以上に支持し得べしとするか又三千萬圓を計算したる根據如何次に絲蠶會社が買入を中止したる場合政府は之を繼續する方針なりしや又横濱には約十萬個の滯貨あり之にては貿易に支障なきや

右質問にて午後零時十分休憩午後一時三十分再開午前の若槻氏の質問に對し

山本農相（登壇）政府が蠶絲救濟のため低利資金を融通したる事に關し若槻君は其の趣旨を取り違へ居らるゝを以て最初よりの事情を述ぶべし

と前提し帝國蠶絲會社成立當初より縷述し大隈內閣當時の生絲救濟に迄も持ち出し轉じて米價問題に溯し感激的に陳辯する所あり

若槻氏（再び）予は絲價一千五百圓の價格を維持するも將來も此の價格を維持する方針なりやと問ひたるなりと述べ更に帝蠶會社の事業につき問ふ所あり

山本農相 今一度簡單に問を望む

之より若槻氏と山本農相との間に一問答を開始し

若槻氏 一千五百圓の價格を至當とするや

山本農相 當局者の言を信じ相當なりと考へ一千五百圓を維持する方針なり

若槻氏 決算込八百萬圓を挿込得るや

山本農相 今日の經濟狀態より見て困難なり（と答へ次に）上山滿之進氏生絲問題に就て問ひ田中農商務次官の答辯あり次で

上山氏 政府の考へにては一個一千五百圓が生產費に相當するとなすか

田中次官 大體に於て然りと答へ尚兩者の間に同一問題に關し二三問答あり次に

江木千之氏 本豫算の審査期間を審査終了日迄延期せられたし

との動議を提出し異議なく之に決し

第七、取引所法中改正法律案

山本農相 財界は近時非常の推移を見たり一國の經濟に大關係を有する取引所制度に改正を加ふるの必要ありと提案理由を說明し

小畑大太郎男 （一）有價證券賣買を二ケ月に短縮したる理由如何（二）第十八條の施行期日のみを三ケ年後の大正十三年一月一日となしたる理由如何（と問ひ）

山本農相 有價證券は一般經濟界に大關係あるを以て漸次短縮する方針なり

と答へ第十八條に就ても答辯する所あり

小畑男 本法施行期日は何時よりなりや

田中次官 成るべく早く實施したく考ふるも準備に五六ケ月を要すべし

と答へ小畑男更に大藏大臣に稅法改正に就て質問し高橋藏相の答辯あり

鈴木摠兵衞氏 生絲取引期間を六ヶ月となす理由如何

と問ひ山本農相の答辯あり次に若槻禮次郎氏第二十二條に就て問ひ農相の答辯あり結局阪谷男の動議にて十五名の委員附託

第八、貯蓄銀行法中改正法律案

第九、銀行條令中改正法律案

二條一括高橋藏相の說明あり矢口長右衞門氏小畑男何れも貯蓄銀行取締に就て問ひ高橋藏相の答辯あり委員附託

第十、公有水面埋立法律案

床次內相說明委員附託

第十一、一年現役小學校敎員俸給國庫負擔に關する法律案

委員長報告通り可決

第十二、國有土地森林原野下戾法中改正法律案

山脇玄氏下戾手續に關し質問し田中次官の答辯あり板倉勝憲子の簡單な質問ありて委員附託次いで他の諸願諸件は委員長の報告通り採擇に決し午後五時十分散會せり（東京電報）

衆議院本會議（十日）

朝鮮私鐵補助案上程

定刻開議傍聽者多く衆議院はこゝ數日賑ふ事夥しい諸般の報告ありて日程に入る

第一、產業組合法中改正法律案

第二、住宅組合法案

右一括議題に供し前案に就ては岡本農務局長後案に就ては床次內相各說明し土井權太氏との間に問答ありたる後委員を附託

第四、朝鮮私設鐵道補助法案

第五、樺太地方鐵道補助法案

水野政務總監並に永井樺太長官提案理由を說明し山邊常重氏朝鮮に於ける鐵道布設に對し質問し

大塚政府委員 朝鮮に於ては從來年八朱の補助をなし來れり

と答へ兩案一括地方鐵道と同一委員附託

第七、明治四十一年法律第三十五號中改正法律案

永井樺太長官提案理由を說明し委員附託

第九、水道條例中改正法律案

簡純義氏委員會の經過を報告し第二讀會を開き三讀會省略可決確定

第十、大正九年法律第十號中改正法律案

第十一、憲兵恩給法律案

委員長山本條太郎氏報告第二讀會を開き第三讀會省略可決確定

第十二、地方鐵道法中改正法律案

第十三、地方鐵道補助法中改正法律案

一括供題委員長米田穰氏委員會の經過を報告し第二讀會を開き第三讀會省略委員長報告通り可決確定

第十四、刑事訴訟法中改正法律案

第十五、刑法中改正法律案

一括議題に供し齋藤苗代氏提案理由を說明し戶水寬人氏提案の刑法改正と同一委員附託

第十六、刑法中改正法律案

提出者宮古啓三郎氏の說明あり委員附託

第十六、未成年者禁酒に關する法律案を議題に供し

根本正氏 本案を提出する事十五回可決せる事十一回に及びたるも貴族院に於て常に否決せられたるは遺憾なりとて從來の提出經過を報告し酒を飲むものは妻子を虐待し又危險思想を生ずるものなりと述べ奧村安太郎氏と根本氏との間に問答あり結局九名の委員附託

第十八、不役壯丁稅法案

荒川五郎氏提案理由を說明し十八名の委員附託

第十九、辯護士法中改正法律案

鵜澤總明氏說明し十八名の委員附託

第二十、所得稅法中改正法律案 附託

第二十一、第三十二號中改正法律案

岩本平藏氏說明九名の委員附託

第二十二、地方學事通則改正法律案

齋藤隆太郎氏提案理由を說明し九名の委員附託

第二十三、沒落者要求法案

第廿四、營業法中改正法律案

第廿九、議院法中改正法律案

第廿六、地租條例改正法律案

第二十七、刑事略式手續法中改正法律案

第廿八、埼玉縣下郡界變更に關する法律案

右何れも各九名宛の委員附託となる此時議場空席多く倦怠の情あり

奧議長 只今議場出席者百名にも達せざるを以て暫時休憩すべし

と宣し五時五分再開岩崎勳氏の動議にて日程變更

一、供託法中改正法律案

委員長報告あり第二讀會を開き第三讀會省略可決確定

一、職業紹介所法案

委員長報告通り可決

一、大正九年勅令八件承認を求むるの件

委員長報告通り可決確定

一、佐賀監獄移轉に關する建議案

一、川內川改修に關する建議案

一、航空事業擴張及行政機關統一に關する建議案

右何れも委員長報告通り採決

餘の日程を延期し午後五時五十五分散會せり（東京電報）

研究硬派脫會か

貴族院研究會に屬する硬派十名は十日夜の同會總會に於て除外例を認めむことを求めしも容れられざりし結果脫會するに決せるが勝田主計氏も亦或は脫會するやも知れず（東京電報）

入亂れて大格鬪

尾崎氏の演說會席上

尾崎行雄氏は十日朝下關驛着直に劇場辨天座に於ける演說會に臨み軍備制限演說をなしたるが大河原某淸水某なる者質問ありと壇上に上り軍備制限をなすの理由何れにありや聞きたしと喧嘩腰にて詰寄り果ては聽衆と口論を始めたるが滿場總立ちとなり場內殺氣漲り喧騷を極めつゝある折柄突如數名の壯漢現はれ壇上に突進せんとするより是れを制止せし警官と衝突し數十名入亂れて大格鬪を演じたり（下關電報）

舊露都占領

倫敦電報

反革命軍はペテログラード全部を占領せり

革命軍大擧

ペトログラードに向ふ

倫敦電報

三萬七千人の革命軍ペトログラードに向つて出發せり

ケレンスキー再記

倫敦電報

亡命中なりしケレンスキーはクロンスタツトを根據とし革命軍を指揮しつゝあり

獨貨課稅案

英佛專門委員會に提出

倫敦九日發電

聯合國の獨逸輸入品課稅に關する英國側の法案は既に作製成り他の聯合國に於ても同樣の法案を作製し居るため之を英佛の專門委員會に提出したり

懲罰撤回期

倫敦九日發電

聯合國代表會議は獨逸に對する懲罰強制細目を決定した同會議は賠償軍備縮少戰時犯人等の諸問題を解決した時該懲罰を撤回する事に議決した又各國代表者班はダウニング街首相官邸に會議して聯合軍がデュッセルドルフ、ジュイスブルグ及びルールオルトの各都市を占領したとの報告並に聯合國委員會が占領地帶の國境に於て關稅を押收したとの報告につき審議した

朝鮮語獎勵手當

月額五十圓以內を支給

朝鮮語獎勵手當に關する勅令は十日附內地官報を以て公布せられたる筈なるが其全文左の如し

朝鮮總督府及其の所屬官署の內地人たる判任官以下の職員には朝鮮總督の定むる所に依り當分の內朝鮮語獎勵の爲め月額五十圓以內の手當を給することを得

附　則

本令は公布の日より之を施行す

明治四十三年勅令第三百八十七號は之を廢止す

支給方法

試驗と等級

右と共に總督府に於ては之が施行細則を定め手當支給の方法を公示すべし右に就き某當局者は語りて曰く

朝鮮語を內地人吏員に普及せしめ行政上便宜を得せしむると共に內鮮融和に資せしめんとする事は新政綱中にも聲明せられたる所なるが從來は學校敎員の一部及巡査憲兵に對する小額の通譯手當を給與するのみなりしが尚ほ

特に獎勵

の意味を含めて學校裁判所及各行政廳を統一し之等判任以下の職員に對し一定試驗の合格者を選定し獎勵手當を給與せんとするものなり右に要する豫算は九年度追加豫算に於て年額十萬圓（九年度八ケ月分十萬圓）を豫算し豫算面には二千五百人に對し一人六十圓を支給するものなるも實行上に於ては朝鮮語の巧劣に依り各等級を附し二千五百人の二倍乃至三倍の人員に就き手當を給し獎勵の徹底を期する方針なり試驗は

甲乙二種

に分ち乙種試驗は各所長官の推選に依り道に於て執行し乙種の及第者をして更に甲種の試驗を受けしむべし科目は解譯、譯文、書取、對話等に分ちたり更に本手當は獎勵を目的とするものなるを以て永久に之を支給するは其の趣旨を沒却する所以なるに拠り二年を一期とし最上級者に對しては特に二期乃至三期間繼續して手當を支給する外一期毎に試驗を更新し次期に於ては前期よりも上級の試驗に合格せざれば其間向上せざりしものと認め手當を支給せざる方針なり手當支給の等級は

一等より五等迄とし一等五十圓、二等三十圓（以上甲種）三等二十圓、四等十圓、五等十圓以下（以上乙種）と定むべく豫定中なり尚以上は大體の總督府としての意向なるが上述の通り確定の上は總督府官報を以て公布し實施せらるゝに至るべし云々

總督府寫眞班

觀覽者五百名

東京に於て映寫中の總督府寫眞班は九日夜東洋協會の主催にて丸の內[illegible]生命に於て一般公衆の爲め映寫し觀覽者五百名ありたる由なり

問責案上程

阪谷男、江木氏の肉迫

問責案上程當日の貴族院は議會開設以來の嚴重なる警戒を見たり阪谷男登壇彈劾趣旨を述べたる後先帝の御製『曉の寢覺め靜かに思ふかな我が政治如何あらん』と朗讀し次いで前田子登壇問責決議案を提出するが如きは貴族院の權限を越ゆるものなりと述べて降壇し更に江木氏の彈劾演說ありて正午休憩す

形勢頗る混沌

反對十七名の多數

問責案上程當日の貴族院出席二百七十二中反對議員十七名多きも午後は兩派共缺席多き見込なる爲め形勢混沌たり（東京電報）

師團完成

四月一日

第二十師團は大正十年四月一日を以て編成完了すべく目下未完成部隊は騎兵第二十八聯隊の一個中隊及工兵第二十大隊の一個中隊に野砲兵第廿六聯隊の五六二個中隊等なるが騎兵は習志野岡山其の他各國聯隊より編成すべく工兵中隊は第五、十、十二、十七の四個大隊より編入せらるゝ豫定なるが如く野砲兵隊は廣島、小倉兩聯隊に於て編成すべきが其他は各聯隊より加入編成すべし而して兵員は何れも來る四月二十日頃より諸隊の豫定なり之にて內地師團に比し輜重兵大隊の不足隊あるのみなりと

府吏員増員

京城府にては今回內鮮人府吏員若干名を増員する由にて資格は中學校卒業生若くば三ヶ年以上判任文官の經驗あるものにて希望者は至急財務部第二係主任まで履歷書携帶出頭せらるべし

赤十字總會參列

內地視察團

朝鮮本部の計畫

日本赤十字社朝鮮本部にては本社總會參列を兼ね內地を視察するは朝鮮に於ける社業の進展に對し效果少からざるにより例年の通り本部、支部幹旋の下に參列旁內地の事情を視察すべく團體旅行の便宜を計る爲目下希望者取纏め中の由

▲旅程五月上旬より往復十五日間にして大分に於ける九州沖繩八縣共進會、大阪、京都、東京の各地の名所舊跡▲費用一人金百三十圓（汽車船二等）旅館、自動車、人力車、各所拜觀等に要する一切の費用▲希望者四月十日迄に所屬本部支部、委員部等に申込むべしと

佛敎慈濟會役員

十一日改選の結果

京城各宗派寺院聯合にて府內元町一丁目に經營しつゝある佛敎慈濟會は役員の任期滿ちたるを以て十一日午前九時より南山本願寺に於て改選を行ひたる處左の如く決定したり尚同會は從來の行旅病者救療以外に次年度より貧民診療を開始すべしと

事務理事 東本願寺溪內弌惠▲常務理事 妙心寺後藤瑞巖▲副會長 久家慈光▲理事 西本願寺松原會誠、曹洞宗別院百村觀宗、護國寺逸見通淚、曹溪寺大隆大定、成身院管英雲、眞言東本願寺宮城誠顯、龍山西本願寺末尾成章

辭令

任朝鮮總督府道慈惠醫院藥劑官（七等） 總督府醫院藥劑手 藤村顯一

慶尙北道在勤を命ず

任朝鮮總督府道慈惠醫院藥劑官（七等） 總督府道慈惠醫院藥劑手 佐藤常吉

平安南道在勤を命ず

醫師試驗施行

醫師試驗施行に關する件は十二日官報を以て公布せらるべく醫師試驗規則第一條に依り大正十年五月九日より京城醫學專門學校に於て醫師試驗を施行する由にして試驗を受けんとする人は四月十五日までに總督府衞生課に願書を提出すべしと

客車建造終了

京管局龍山工場にて製作中の客車二輛は去九日落成し累計八輛となりこれにて九年度の建造豫定計畫は終了せり

野坂氏退官

目賀田男の韓國財政顧問時代より總督府財務局に勤務せし總督府事務官野坂直次氏は今回退官し某銀行囑託として東京へ勤務する事となり二十一日朝家族引纏め京城出發の筈なるが東京に於ては上澁谷百十番地へ下居の筈なりと

鮮銀行員出發

松田文[illegible]事業部長は四月十四日横濱出帆大洋丸、中村顧問技師は三月二十五日横濱出帆の伏見丸にて歐米視察の爲め出發右に付兩氏とも十一日午前九時四十分南大門發急行にて東上せり

●社友會の講演● 滿鐵社友會講演部にては滿鮮地方漫遊中のマスター、オブ、アーツ小崎道雄氏を聘し十一日午後七時半より滿鐵學校講堂に於て講演會を催すべし

●滿鐵社線圖揭示● 京管局に於ては豫て旅客の便利を圖り一、二、五、六の各急行列車一、二等室に朝鮮線ゝ路圖を揭出し來りしが自今鮮滿全通客の爲め滿鐵社線全部のものを揭示する事に改めたりと

各學校卒業式

日時確定

各學校卒業期に入り京仁に於ては善隣商業學校の卒業式を皮切として京城中學校は九日、仁川公立專修學校商業學校は十一日何れも卒業式を擧行したるが其他の各學校（中等以上）に於ける卒業式擧行日取は左の如く確定し居れりと

▲十三日午前十時私立京城高等商業學校▲同日午後一時私立普成法律商業學校▲十四日午後二時京畿道囑託敎員講習會▲十五日午前十時半仁川公立商業學校▲同日午後三時私立セブランス醫學專門學校▲十六日午前十時私立中東學校▲十七日午前十時京城高等普通學校▲十八日午前十時京城女子高等普通學校▲同日午後一時私立普成高等普通學校▲十九日午前十時京城專修學校▲同日午前十一時私立徽文高等普通學校▲二十一日午前十時私立梨花女子高等普通學校▲二十二日午前十時京城高等女學校▲同日午後二時京城醫學專門學校▲私立中央學校、私立養正高等普通學校▲二十三日午前十時私立延禧專門學校▲同日午後二時私立淑明女子高等普通學校▲同日午後私立儆新學校、仁川公立高等女學校▲二十四日午前十時私立進明女子高等普通學校▲同日午前十時半私立京城女子技藝學校▲同日午後三時私立培材高等普通學校▲同日午後八時私立培花女學校▲二十五日午前十時京城公立農業學校▲二十六日午前十時京城工業專門學校▲同日午後二時私立貞信女學校▲二十八日午後一時私立同德女學校

公會私會

◎藤田氏送別會 [illegible]朝鮮銀行有志及縣人會主催により今回東[illegible]教授として赴任すべき藤田零作氏送別會を十一日午後六時南山町京城ホテルに開きたるが頗る盛會なりき

◎軍司令官晩餐會 大庭軍司令官は工兵第二十大隊檢閱の爲十日夜來城せる工兵監山田中將及び野砲兵第二十六聯隊檢閱の爲十三日入城すべき砲兵監渡邊中將の二氏を招待し來る十四日午後六時より軍司令官々邸に於て晩餐會を催す

◎岡山縣人會催宴 岡山縣人會に於ては十二日夜花月に於て時實、澤田兩警察官歡迎、弓削鐵道部長昇進祝賀、猪原朝鮮ホテル支配人の送別會を開催すべし

人事消息

▲山本遞信監理課長 婦省中の所十日夜歸城

▲竹內遞信局長 十一日朝歸城

▲木本房吉氏（辯護士） 十一日歸城

▲國宗鐵路署長 十一日午前九時五十分發列車で奉天方面に出張

▲[illegible]直惣三郎氏（元山電氣社長） 十一日朝退城

▲三浦周行氏（京大教授） 十一日午後七時二十分退城

▲山田弘倫博士（軍々醫部長） 西鮮地方巡視中の處十一日朝歸任

▲西原大尉（陸軍省人事局課員） 事務視察の爲十三日來城の豫定

▲堀田大佐（步七八隊長） 黃海道地方守備隊視察の爲十三日出張の豫定

▲吉川確治、飯島道修兩氏（名古屋陸軍幼年學校教授） 來る十五日來城の豫定

▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦實業家） 十日朝釜山上陸九時三十分北行（釜山電話）

▲今村武志氏（總督府庶務課長） 十日歸任の豫定なりしも用務の都合上約十日間歸任延期となる

十字

▲私設補助額も事業家は內地が七分と云つて出した法律を今期議會に提出したのに朝鮮が八分では耿いと云つてるものがあるさうだが內地の七分と云ふのも政府は矢張五分より補給しないのだから面白い樺太廳の補助法案も前議會で握り潰されたがこれも朝鮮よりは割が悪い大藏省が朝鮮の八分をよく默つて通過させたと云つてる者もある位▲或人總督府の通譯官陶山武二郎氏を嚇かして曰く『獵友會三幹事の內日置、高橋の兩君共火災の厄に遭つた殘るは君唯一人今の內厄除會でも開いて吾々をご馳走したら』と云ふと氏は平然たる者で『僕のは官舍だから祝融子も國損失を憂へて決して家を燒く樣な事はない此點は官舍に居るお蔭だとカンシャに堪へぬ』に『此幹事は到底カンジがない』は何の事だか

合併相撲の騷動

東京大錦が負けた爲め

大阪新世界國技館にて興業中の東西合併相撲七日目なる十日の取組に於て東京方の大錦と大阪方の宮城山との取組に於て大錦寄倒されたれば見物人は亂暴にも座布團酒瓶を土俵に投げつけ負傷者多數を出したり警官は五十餘名を引致し徹宵嚴重取調べ中なり（大阪電報）

本郷大將卒倒す

別府の砂湯に入浴中

第十二師團特命檢閱使本郷房太郎大將は大分聯隊檢閱のため六日別府に赴き滯在七日朝砂湯に入浴中突然卒倒せるが目下療養中なり（大分電報）

…十八圓合計九十四萬七千三百九十六千二百七十四圓（三千三百十六石）こす輸移出入は各種商品を…引なく各方面こも頗る閑散を…市況不振の爲農家の賣情なきもありて頗斗出廻り無く二月中元山檢查所の檢查總數僅に一萬八千…行はれず僅に既約品の積出と…同樣にして一縷の望を囑する…工費約八萬圓を投じて…度の道路修築工事に要する工費…

▲川崎農場主 [illegible]月廿四日病勢…療養の爲別府溫泉に滯留中…川崎大郎氏は病…石の効な…技師外全北各地官民百數十名及…川崎農場所屬內鮮小作人數百名…

咸興地方發展策

大いに外來の人々を歡待し　土地の事情を紹介すると共に　外資の移入に專心努力せよ

咸興繁榮會長　寺本幸太郎氏談

何れの土地と雖も良い素地がなくては發展せぬ又素地があつても世間に知られなければ矢張無きも同じ事である即ち交通の便否とか生産物の多寡とか瞬地の經濟狀態乃至四季の氣候とか云ふものは何れも

土地の發展 にも影響する一大要素である咸興は此の要素を備へてゐるであらうか私は確に發展する充分の素地を有してゐると思ふ交通の點に付いていへば咸鏡道は既に南から當地迄開通し大正十五年には全通する筈である海に出るには僅三里で西湖津の港があり此間既に輕鐵の便がある又咸鏡鐵道の工事が進んで退潮まで開通したならば

僅か一時間 足らずで朝鮮東海岸に於ける理想的の良港退潮港に行く事が出來る奧地に近く森林鐵道の敷設により朝鮮內は勿論滿洲にも最も短距離で通ずることが出來る其他道路は東西南北に立派な國道が有つて所謂四通八達である又生産物では東西十里南北五里以上もあつて地味の肥沃である有名な咸興平野があつて穀類は何でもよく出來る

秋の結實 して居る所なぞ始めて見たものは實に其出來榮に驚くそれも別に肥料を多く施したのでなく又手入れを餘分にするでもなく殆ど天然に任すと樣な有樣で實に唾取であるそれから四隣の山地には金銀石炭到る處にある奧地には千古斧鉞を入れざる大森林がある海の方面は沿岸各地共魚族が豐富で例の明太魚の如き朝鮮唯一の海産物で一々

數へ切れぬ 程海陸共に無盡の寶を藏してゐる氣候は緯度の割合には非常に暖かで冱寒の候でも零度以下十度を下ることは殆どなくて京城邊よりは却て暖かい位である何れから見ても發展せねばならん土地である夫れが今日西鮮南鮮に比し非常に發展が遲れて居るのは全く世間に實情が知られず誤解せられて居たからである現に一例を言ふならば新任の官吏が

異口同音に 『自分は始めて咸興に赴任を命ぜられた時は如何にも左遷された樣な氣がして左樣の所に行くなら寧ろ辭職しようかと迄思つた然し漸く心を定めて來て見ると京城を離るゝ時は誠に不安に堪へなかつたが足一度咸興の地を踏むに及んで其土地の雄大にして如何にも將來ある朝鮮有數の都會であるとの感が起り不快の念は全く去り愉快な心持になる

實に咸興は 世間に誤解せられて居る斯樣な處なら何にも心配する事は無かつたと十人が十人同じ事を繰返すのである是を以ても咸興が世間に知られて居ないことが分かる夫れで吾人は急務として咸興の實情を世間に知らしむるやう勤めねばならぬそれで外來の人を歡迎し外資の移入を計ることが必要である兎も角人間は淺慾のもので

目先の小慾 に迷ひ易いもので他より來て何か仕事をすると自分の事を取られた樣に思ひ何成人には知らせず人の來ぬ內に密かに旨い汁を吸はうとするは全く間違つた事で土地が發展すれば自然自分の利益も增す譯で少しも不利益と云ふことはない土地のもの丈けで事を仕やうと思つても夫れは不可能である極力他より人と資金とを引き入れることに心掛ねばならぬ今日

大阪の市民 百五十萬の內土着の人が何程あるか僅に其の幾割に過ぎぬ殆ど他の土地から移住して來たものであるけしの一粒も遂に金米糖の大きさを爲すのである外來の人を歡迎し可及的便宜を與へ喜んで入つて來る樣に勸めることが當地方發展策の根本問題であると私は信ずるのである

大田中學

本館の建築　其他に就て

關本校長談

關本大田中學校長は往訪の記者に語りて曰く『本校の新築工事も步を進め大正十一年度に於て完成の筈なり大正十年度の事業としては

本館の建築 なるが地均工事後なれば其着手は六月上旬頃ならん本年の入學志願者は目下の處百四十九名にして昨年に比し卅三名を增加したり入學試驗は三月十一日午後より各志願者を集め受驗上の注意を與へ翌十二日より施行する豫定なり本年の進級試驗には多少の落第者あるを免れざるも止むを得ず豫ての懸案たる

體育協會の 組織に就ても夫れ〳〵考究中なるが其の維持方法を講じたる上ならでは容易に著手するを得ざるも近來の如く總ての運動熱勃興したる大田としては必要の事なれば時機を見て設立する考へなり云々』

大田地價暴落

（大田）土地の時價暴落は獨り大田郡のみに限らず一般の事に屬するが柳川面に於ける財界好況時代に二百五十圓より三百圓を唱へたる一等畓は現今百二十圓位に暴落せりと

正米稍々動く

（大田）二月中閑散なりし大田驛には三月四日正米の輸送せらるゝあり此賃金は五百三十四圓三十一錢を算したるが其輸出先は山陽線植川及び湖南線群山なりしと

產業調查會　設立の曉

斯して其の事業を意義あらしめたい

二十三日京城に於て開會の事に決せる產業調查會設立要望に關する全鮮商議聯合會には釜山商議を代表し同所役員瀨源次郎、非谷義三郎兩氏

出席す可く 決定せるが其の贊成意見の資料に關しては目下道協議會列席の爲め晋州出張中の香椎會頭の歸釜を待ち今月の評議員茶話會定日を來る十三日頃に繰り上げ同會席上に於て審議決定の筈なるが之が設立に關し書記長花

輪熊次郎氏 は語る『產業調查會の設立は所謂時代の要望で要不要は母國議會に於いても各種調查會の研究資料が如何に重大視せられつゝあるかを見ても一目瞭然である、徒らに當局の政策を論難攻擊し以て督勵促進を圖らうと云ふ樣な烏滸がましい

意義を包含 するものでなく殊に產業の啓發如何を焦眉の急とする朝鮮にありては當局の大方針に基づき其の一助として總督の宣明せる民意尊重の上より是非共民間の爲末席に列し相談に預かり度い、換言すれば仲間入りをして諮問が願ひたいと云ふ

希望に過ぎ ぬので隨つて設立される樣になつた曉は其の組織の內容としては先づ一番に內地の主なる官民を會員に網羅し廣く朝鮮の事情を母國に紹介すると同時に研究を願つて有意義のものたらしめたいと思ふ』云々

多獅島築港運動

商議員交涉

（安東縣）既報の如く安東商業會議所會頭代理高橋貞二、常議員荒川六平兩氏は九日午前九時發新義州府に赴き府尹を訪問し多獅島築港問題は安東新義州共通の利害問題なるを以て府尹の斡旋により新義州府の實業團より多數の委員を詮衡し共同の活動をなし期成同盟會樣の者を組織し大に今後の運動方針を確定したき旨を交涉する處ありしが府尹も安東側の要望を諒とし不日實業家と諮り相當の機關を設くる事に努力すべしとの回答を得安東の三氏は引取たり

安東領事館分館

長白縣に設置？

（安東縣）鴨綠江上流長白縣長白府は馬賊の出沒不逞鮮人等の跳梁多く常に日支懸案も尠からず日採木公司分局の所在地として日本人の來往も頻繁なるを以て曩に入江領事の上流視察に際しても安東領事館長白分館設置を聲明したるが近く其實現を見るべく目下其準備中なりと云ふ

運材作業終了

鴨綠江、豆滿江兩流域に於ける營林廠の運材作業は去る二月下旬を以て大體に於て終了したるが其の成績は頗る良好にして豫定數を搬出したり今後の問題は筏流ー支流々筏編筏等なりと

馬山の大紛擾

高等女學校新設問題　頑強に突張る反對派　果して何う晃がつく？

馬山府にありては豫て一部人士の間に高等女學校設立の急務を提唱するものあり爾來運動に運動を繼續せる結果已に認可申請の運びに至れるが

該問題 は前年も或一部の間に唱導され時の府尹三好久米吉氏の不同意に依つて其儘立消えとなり居たる所最近又復問題となり設立派及び反對派の兩派に分れ互に相爭ひつゝあり其設立派と目され居れるは府當局及學校組合並に府協議會の議員等にして資料高等女學校長も之に贊意を表せるものゝ如く尙

反對派 と稱せらるゝは一般民間の人士にして既に數百連署による陳情書を作成し府尹、道知事、學務局長等に提出せるの外近く總督宛陳情書を送るべく夫々調印中なりと云ふ右に就設立派の主旨とせる所は女子高等教育の普及は時勢の要求にして一日も閑却すべきにあらずとか設立を見るに至らんか馬山の人氣は必ずや挽回せらるゝに至るべく又自然に小學校なぞ充實を圖り得らるゝの故を以て一擧兩得の策と云ふを得べしといふにあり反對側の提唱せる所は馬山組合の現戶數は約一千百戶にして組合費の負擔は九年度一戶當り平均十三圓三十錢なりしも大正十年度は財源の減收と支出の增加とで前後八割を增し即ち一戶平均廿一圓五十錢其他別に小學校舍增築費等約一萬數百圓を計上し一層戶平均三十圓餘の負擔額に上り然も民力の現狀は極めて貧弱なる境に彷徨せるに拘はらず更に又二萬圓の起債を募り急を要する小學校の施設は圖らず其經費を轉用して新に高等女學校を設くるが如きは教育施設の本末を誤るのみならず將來兩校の充實は到底民力の堪へざるものなりとの主旨を提唱せる者の如し而して反對派にありては去る二月十四日府尹宛陳情書を提出し同時に委員數名府尹と會見の上反對說に就ての理由を陳述したるも府尹は民衆の代表者たる議員のなせる所なるを以て如何こもし難しと

一言に 拒み遂に二十一日の組合會議に於て設立案提出せられ其の可決を見たるのみか一方議員及一部有力者等反對氣勢の防歇に努め中にも三四の者に對して脅迫的に陳情書の捺印を取消さしむる等あらゆる手段を盡し居れるが今後果して如何に歸著するか馬山としては未曾有の大紛擾なりと云ふべし

鴨綠江下流　鮮人窮す

潮水と旱魃の害

（安東縣）鴨綠江下流に沿ひたる三道浪頭附近より龍王廟、大東溝附近一帶に亘り鮮人農民の水田耕作に從事するもの頗る多數に上る由なるが瀕岸に沿ふたる農民の耕作する水田には一昨年來數回に亘り潮水の侵入を受け殆ど一粒の實稔を見ざる處あり且つ昨年の旱魃の如きは非常に鮮人農民の生活を脅威し殊に冬期間は薪炭の收穫皆無なりし地方はオンドル用の燃料なく其の慘狀見るに忍びざるものある由安東領事館に於ては夙に其の窮窘の狀を調査しあるも經費の出所なき爲如何とも手の下し樣なき有樣なりと

何時吹き止み相もない　凄まじい不景氣風

特產物のありあまる安東縣も　流石に何の店もく大弱りの態

花柳界もカラ駄目

木材大豆、豆粕柞蠶と約六七千萬圓の特有產物を有して居る國境鴨綠江畔の安東縣も今より約一年前から不景氣々々々の歎聲到る處に聞かされ

材木商も打擊　貿易商も打擊 柞蠶絲ごけはごうやらこうやら息だけをついて來た樣であつた、然るに大正も十年となり、鴨綠江の水が解けたら、亦昔の榮華の夢こ迄は行かずとも多少は景氣が直りて來そうなものと吾も人も期待して居たものだ而して鴨綠江も

一週日以內には　解氷する見込み ボツ〳〵は鎭江山の櫻も噂の種にならうと云ふ昨今、果して景氣は好い方に直りはしまいかと、は空頼み愈の景氣は不の字の方に押し進んで行く樣だ、此間から取引所の株が二十五圓にも

突發的馬鹿値を　出したばかりで 氣の早い連中は財界安定の曙光が見え出したのぢやと太鼓をウンと叩いた向きもあつたようだが事實は是れと正反對の現象で銀は暴落に次ぐに棒落南に對する金が一圓二十錢台を叩き破らうとする場合對支貿易は一切合切何も出來ず

大豆は出廻らず　豆粕と謂つても 今の運賃關係では內地との引合が取れず茲も駄目である、木材にした所が最近漸く荷が動くとは云ひ乍ら、一日に製材物の五車や八車では心細い、それかあらぬか安東第一流所の商店では

先づ一番に　三井物產大縮小　共益社は閉鎖し 鈴木も幾分縮小の有樣、市場通の某商店も近々引き揚げるだらうとの評判、隨つて花柳界なぞはお蔭樣でボツ〳〵とは謂ふものゝ、二三を除いた外は、唯徒らに春宵一刻値千金を二足三文に賣らうとする

焦つては見ても　一向花は賣れず 南地遊廓邊りの不夜城も歌舞の菩薩は欠伸をして呼び出しも利かぬ有樣、何ごしたものだらうこ、悲觀しても始まらぬ所だが何とか不景氣風を擊退する良い方法はない者かなあ（安東縣）

全北道評議員會

（全州）全北道々評議員會は八日午前十時二十分より全北公會堂に於て開會席定まるや各員の着席を待つて議長は會議錄署名員の選定を議場に諮り鄭碩謨、志賀日俊、金炳熙の三氏を指名して之を報告し直に提出案の配付を爲せり而して議長は當局として諮第一號大正十年度地方費豫算に付き編成の方針及び大體の說明を爲せり因に出席評議員は內地人七名鮮人十七名都合二十四名なりと

潛水器漁業組合

創立總會

（元山）元山を中心とする咸南北江原道の潛水器業者を以て組織せる潛水器漁業組合に於ては既報の如く法人組織として總督府の認可ありたるを以て六日午後二時より在鄉軍人分會に於て創立總會を開催、收支豫算、一萬圓起債、共同購買代金支拂細則其他を附議し左の役員を選擧せり

▲監事　岩中平六、橫山忠之助　▲評議會　渡邊新一、家永喜三、齊村季吉

平壤府豫算

大正十年度

平壤府大正十年度歲入出豫算左の如し

歲入

金二十二萬八千四百八十九圓　經常部豫算
金八萬八千六百九十二圓　臨時部豫算
合計三十一萬七千百八十一圓

歲出

金十九萬四千二百〇二圓　經常部豫算
金十二萬二千九百七十九圓　臨時部豫算

歲入經常部內譯

一、府稅十三萬三千百五十四圓
二、使用料手數料二萬九千九百七十五圓
三、交付金千三百三十一圓
四、財產收入五百九十二圓
五、收入證紙收入二萬千七百四十圓
六、雜收入四萬一千六百九十七圓
合計二十二萬八千四百八十九圓前年に比し八千六百六十二圓減

歲出臨時部內譯

一、繰越金二萬二千圓
二、補助金五萬四千三百八十圓
三、寄附金一萬一千圓
四、過年度收入三百七十圓
五、財產賣拂代八百四十六圓
合計八萬八千六百九十二圓前年に比し六萬二千百五十八圓減

歲出經常部內譯

一、事務費三萬九千四百十五圓
二、土木費一萬七千四百四十四圓
三、傳染病豫防費二千百〇七圓
四、隔離病舍費一千百十二圓
五、汚物掃除費六萬一千四百四十八圓
六、撒水費六千三百八十圓
七、屠場費八千九百六十五圓
八、墓地及火葬費一千五百十二圓
九、公園費三千二百七十三圓
十、社會事業費一萬七千六百五十圓
十一、渡場費一萬〇二百十圓
十二、警備費二萬〇百五十七圓
十三、財產管理費一千三百七十圓
十四、雜支出二千四百七十八圓
十五、豫備費四千六百六十八圓
年に比し一萬四千五百七十圓增

歲出臨時部內譯

一、土木費一萬六千九百圓
二、墓地及火葬場費五百二十六圓
三、撒水費二千圓
四、屠場費三千圓
五、社會事業費五千五百圓
六、隔離病舍設備費四千五百圓
七、警備費一萬圓
八、積立金七十八圓
九、寄附及補助七百圓
十、府債費四萬一千二百[illegible]圓
十一、繼續土木費三萬八千五百[illegible]圓
合計十二萬二千九百七十九圓前年に比し八萬五千三百九十圓減
合計三十一萬七千百八十一圓前年に比し七萬〇八百二十圓減

祝賀會

知事其他參列

（海州）三月六日午後一時より黃海道廳構內にて在鄉軍人會海州分會創立十週年の祝賀會あり來賓は朴知事を始め長野第四守備隊長其他の各官署長民間より道評議會員府協議會員學校組合會議員其の他の有志者新聞記者等で有益なる軍事講話あり規約に基づき役員の選擧を執行したるに其の結果左記の通りなり因に記す岡戶分會長松原副長以下職員諸氏が熱誠會務に盡瘁せる奉公心に感じ在海州官民より基金として義捐せる額約一千圓に達せりと

▲分會長　岡戶廣治　▲分會副長　馬場忠夫　▲理事　八尾藤一郎、竹原千代松、八田寬重、末廣幸作　▲評議員　森橋京太郎、及川義見、渡邊友吉、迫田萬太郎、樋口甲子藏、鈴木弘

府協議員會

新義州府協議員會を八日午後二時より開催し府吏員定員中改正の件、府稅條例中改正の件、臨時府吏員增置の件、金庫事務取扱條令中改正の件、水道給水條令設定の件等を附議し會同日終了したり（新義州）

支廳長會議

營林廠鴨綠江、豆滿江兩流域及龍山等の各支廳長、出張所長を來る十六日より四日間召集して支廳出張所長會議を開く筈なるが會議の內容は大正十年度に於ける作業の打合せなりと（安東縣）

柳參與官著任

（咸興）前京城貿易會社取締役にして今回咸鏡南道參與官に新任したる柳承欽氏は去七日咸興著任翌八日治川官房主事の案內にて各官公署を訪問し著任の挨拶をなせり

地方人事

▲佐藤檢事長　京城覆審法院檢事長佐藤鐵樹氏は咸南地方法院司法事務視察の爲め來る二十日來咸せらるべしと（咸興）
▲續法院長來去　平壤覆審法院長續次鉦郎氏は管內巡視の爲め八日朝新義州著直ちに義州に赴きたるが九日新義州地方法院支廳を巡視すべし（新義州）
▲堀東拓支店長　東拓奉天支店長堀庫氏は目下巡視中なる川上理事出迎の途次八日朝五龍背に下車せり（安東縣）
▲山中地方事務所次席　地方事務所長會議の爲め滿鐵本社へ出張中なりし山中安東地方事務所次席は八日朝發列車にて歸任せり（安東縣）
▲原田教諭　今回大田中學校教諭に任命せられたる同氏は三月九日着任したり（大田）

地方集會

▲黃海道知事歡迎宴　新任朴重陽知事に對する歡迎宴は三月七日午後四時より道廳構內奨學堂に開催內鮮官民約百名出席開宴に先ち發起人を代表し下坂海州郡守歡迎の辭を述べ朴知事は得意の國語を以て道政に臨む抱負の概要を陳べて謝辭に代ふ斯て宴に移るや內鮮の藝妓十數名の斡旋にて和氣藹々裡に宴を閉ぢ所に起り興を盡して午後八時頃退散
▲釜山府尹午餐會　本田釜山府尹は去る八日朝沿岸巡遊の爲め入港碇泊せる松、杉、柏、榊の四驅逐艦長及其他乘組將校數名を同日正午鐵道ホテルに招待し午餐會を開きたり（釜山）
▲大田中學講演會　大田中學校にては三月十日の陸軍紀念日をトし軍事思想鼓吹の爲め第三大隊松崎大尉に依囑し講演會を開會したり
▲神坂氏送別宴　神坂退三氏は今回京城日報平壤支局長辭任に付長谷川義雄、松井民治郎、楠野俊成、古莊仁太郎の諸氏發起となり九日午後六時より公會堂に於て同氏の爲に送別宴を開きたるが篠田知事岩崎旅團長其他知名の士數十名來會主客歡を盡して午後十時退散した
▲金丸氏時局講演會　國民協會幹事金丸氏は去る八日午後三時より新義州公立普通學校に於て時局に關する講演會を開催したり

乘夫募集著手（安東縣）

營林廠に於ては去る二月二十一日より村上技師を岐阜、愛知、和歌山、奈良、三重の五縣下に出張せしめ目下乘夫の募集中なるが本年は鴨綠江の本流支流及び豆滿江共凡て直營さする爲め全部の乘夫數は三百二十八名を募集すべしと

高普生徒募集（新義州）

新義州公立高等普通學校にては來る四月の新學期に入校せしむべき生徒百名を募集する事に決定したるが締切りは四月九日迄なりと因に同校は校舍の新築を見るまでには多數の時間を要すべきを以て授業は當分の內新義州普通學校に於て開始すべしと

據付工事進捗（新義州）

營林廠に於ては工場用の動力エンジンの取替工事中なるが機械の据付けは略終了し且下煉瓦卷き工事中なるが三月中には全部の竣工を見るべし因にエンジンは二臺にて約百八十馬力の者成と

根本的　活力素　強壯劑

本品は坪井工學博士の新發見剤にして人間老衰疾病の原因たる細胞中のプラスマを補給し有害菌を殺す白血球を增加し其働を旺盛ならしむるが爲之を服用すれば傳染性諸病に對し抵抗力を強め健康を增進し老衰を豫防して永く肉體美を發揮せしむ

三〇瓦（約一月分）壹圓八拾錢
二五瓦　內地送料拾貳錢
四五〇瓦　內地送料廿七錢
內地送料[illegible]錢

發賣元　東京京橋五郎兵衞町五　活力商會　電話京橋二五九九　振替東京三〇八六

LAXATOL

緩和下劑　ラキサトール

一般便秘就中常習性便秘症に內服し奏効顯著なり、本品の特長とする點は無味無臭なれば內服容易にして用量頗る僅少（粉末〇、四錠劑貳個頓服）にて足り習慣性とならず且何等の副作用を呈せず。（說明書進呈）

包裝　粉末拾瓦入、廿五瓦入、百瓦入、錠劑拾錠入、五拾錠入。

發賣元　大阪道修町　株式會社　鹽野義商店
東京出張所　日本橋區本町三丁目九　振替貯金口座大阪八一一番　振替東京五四五五番

母乳代用　病者　老者　產婦　弱衰前後　乳

あれかこれかと迷ふ方は

？

ネッスルミルクフード

を是非お試し下さい　此の廣告を切抜き郵便切手十錢包裝料として御送付あれ　見本進呈

NESTLE MILK FOOD

橫濱郵便局私書函三〇四號　ネッスル及アングロスヰス煉乳會社　（京城日報）

松生丸太

松立木五千本　直徑五寸以上尺五寸迄
所在地京城東大門外崇仁面（電車道ヨリ五丁ノ地點）

橋梁材杭木最適材

右山林伐採中ニ付如何ナル寸法ト雖モ御注文ニ應シ直チニ切揃可申候間多少ニ不拘御用命願上候

在庫品安價提供

前年ヨリ持越在庫品板、小割、角材、原木數萬尺締新品ト入替ノ意味ニテ大割引提供可仕候間御買上願上候

京城岡崎町八七　須川材木店　電話龍山四三四番

創業茲に十周年幾萬の愛用家諸君と共に本器の異常なる發展を祝し將來益々其の使命を全うせんことを期す

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用に依る治療器にして使用後直に脈搏の恪調強壯を感じ疾病の根元を絕滅せしむるに驚くべき偉力を有す

オキシパサー

効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得

血液の洗滌と體質の改造

數萬の實驗例

定價金參拾九圓

東京麴町區有樂町一ノ三　大日本オキシパサー商會

オキシパサー總代理店　龍山驛前　居森松次郎　電話九〇五番
取扱店　京城府黃金町一ノ六〇　松本商店　電話三〇六二番
京城日報社代理部

家庭講壇

流行病には抵抗力を養ひなさい

人間には自衛能力と云ふ一種の能力があります醫學者は之を抵抗力と申します、此の能力は自己の境遇と四季の自然力とによりて不斷消長があります

其の自衛力 に支配せらるゝものが一般的のもので即ち流行病などが出來るのは此の一般的の支配を享けて自衛能力に缺陥がある場合だらうと思ひます、そこで今年冬季中に私が感得した所に依りますと本年は第一、胃腸に關する自衛能力が著しく缺陥して居はまいか第二、皮膚に關する同能力の缺陥もあるまいか

此の二點は 固より該當的のもので各地方と當該地方の自能力とによりて多少の相違はありましようが數年來の經驗上大體に於て相違はありますまいと思ふ、稀有の温氣なる冬季去りて餘襲來り幾分か自能力に支配せらるべき人間の能力調和が出來たような感がいたしまして來るべき春夏の自能力が好都合に進みさへすれば

私の研究は 啻に杞憂に了るのでありますが、一度錬磨を缺きたる官能外の能力は容易に回復するものではありません、故に先づ向後平年通りに氣候の推移ありとするも本年はコレラ、赤痢、チブス等の如き胃腸を起點とする流行病は

餘程の注意 を拂うて然るべしと思ひます、又皮膚を通じて發する諸病風邪の如きも注意を要するとと思ひます彼年す(高橋富三氏談)

流行せし感冒の如きは猛威を逞しうするとなしと斷言はしませぬが往年の如き現象は先づないものと看て差支はありますまい

斯様な豫言 めいた理論も的確に的中すれば人生必須の要事でありますが吾人は未だ研究中でありますから決して公表は好みません依つて親愛敬慕する各位に內通して以て御健康上の御參考に資せんと斯くの如き蕪文を綴りました次第であります

『樂しみは只讀書ばかりです』と

趣味は琴と生花

……風なきにはらく散る櫻花 つかれし人のそれの如くに……

國分千代子さん

明治町高等李王職次官國分氏の令嬢千代子さん(二三)を訪ふと、早春の午後の日射し豐かな一室に折から久々に訪れたと云ふフレンドの一の瀬愛子さんとお樂そうに話が夫からそれと交されてゐたそうして千代子さんは記者に左の樣に語られました今迄愛子さんと お噂を致してゐましたの二三日前から彼方此方のお友達の方々を次々と紙上にお見うけ致しますので或は私なんかにもお鉢が廻つて來るのではないかと語り合つて居たところなんです。それに私には皆さまのように之れと云ふ趣味も持ちませんから困りますわ……只今では毎日母と二人でお仕事で

其の間々に 先生に來て戴いてお琴と生花をやつてゐますだけでみんな未熟で殊にお琴などは次から次と忘れて仕舞ますそうして斯んなに家にばかりゐますと人樣のお話は何がへないし全く井戸の蛙になつてゐるんですの一日々々と世の中に遠ざかつて行く樣な氣がしてなりません讀書でなりと其の幾分を補ひ度いと

兩親に乞う て夜分だけを其時間に宛てゐます、ですからそれを樂しみに晝間のお仕事もどれだけか捗る樣です本當に此讀書にどれだけ感謝致してるか知れませんわ…私には歌の嗜みでもと?……之も先生についたものではありません折にふれ自然に湧く詩的氣分を限られた

文字の範圍 につひ勝手に並べたてゝるまでの事でお耳に入れる樣なものではありません……傍の柱掛けには千代子さんの記名した一首の短歌『風なきにはらくと散る櫻花つかれし人のそれの如くに』と何れ過ぎし年の落花のさまだらう水莖の跡も鮮かにさも大和撫子の心の美を誇らしげに語つてゐた

私の大切にしてゐる物

釧路小學校高一 石田トキ子

姉上樣が大切にして居られたオペラバークと指輪は去年から私の物となりました昨年市に入れて可哀さうにしまつておかれた姉上は二度と歸らぬあの世に此二つを後にして行かれました悲しみを持つて居る二つの品は私の寶物にしまつて、おくやうになりました、見れば涙の種となるオペラバークと、ユビワは私は一生涯身にはなさず大切にしまつておきます。目を引附るような美しい模樣のオペラ、ピカく光る、金指輪は、私の一番大切の物であります、事のこども大將起つた時はこの二つだけ、もち出す覺悟です、姉上の形身と思へば尚大切にしなければならないと思ひます。

童謠 月の光

三坂小學校尋五 堀田十寸子

かはいい野菊をまん中に
ちひさな小草に光るつゆ
月の光のまん中に
小さなく青がへる
つゆが光るとあをなく

子供の大將

青いくつ大いばり
あかい帽子にこどもの大將
あそこから來る者ついてこい
あーかいほーしの先つぽに
小さな可愛いたまつけて
あそこからくる者ついてこい

內地觀光團の一般約束

締切二十五日 出發四月二日

本社の內地觀光團計畫は發表以來一般の話題に上りつゝあり朝鮮に於ては總督府初め各官衙團體が本社の此意義ある新文化の光團に對し多大の便宜を與へらるゝ筈で朝鮮中央鐵道會社の如きは同社沿線より觀光團參加團員各位の爲に旅客待物の運賃三割引の好意を發表せられてゐる此他總督府海軍省等からも種々の便宜を與へらるゝ筈であるから確定し次第順次發表する事にする。既に此壯擧に對して申込者も尠からず種々照會して來る向きもあるので內地觀光團規定を抄舉しやう、

觀光團規定

一、申込は三月廿五日限り 申込順に依り豫定數を超へたる場合は一切謝絶

一、內地觀光團員一名の會費は金二百圓、參加希望者は原籍現住所職業氏名年齡を明記し申込金として會費の內廿圓を添へ主催京城日報及每日申報觀光團係宛申込まれたし

一、殘金百八十圓は三月三十一日迄に拂込まれたし

一、京城以北の會員は四月一日迄に入京出發當日即ち四月二日午前九時迄に必ず南大門驛特別待合室に集合せらるべし又京城以南の會員は隨意各所在地の停車場より四月二日午前九時四十分南大門驛發南行第四列車(特急)に聯結された觀察團專用車に乘込まれたし

一、本觀察團は各視察地にて神社佛閣を參拜し又會社工場等を視察其の他地方有志の歡迎會に列席するが如き事も屢次なれば見悄からざる相當の服裝を用意されたし(但し強て禮裝に及ばず)

螢雪の効成つた 京中卒業生の行方

高等學校志望者が殖ゑた 父兄と卒業生の關係

京城中學校では九日午前十時から同校第九回卒業式を擧げた卒業生の卒業後の志望に付き同校我能首席教諭は語る本年卒業生總數は八十六名で卒業後の

志望 學校は左の通りである

陸軍士官學校二▲高商六▲同志社一▲美術學校一▲札幌農科大學一▲外國語學校一▲商船學校一▲早稻田一▲教員養成一▲高師一▲未定三▲京城醫專一▲高等工業四▲京城高等工業專門學校六▲商科大學一▲日本大學一▲奉天醫學堂一▲官業二▲慶應大學四▲旅順工科學堂一▲高工五

右の中で殊に氣につくのは卒業生八十六名中二十四名までが

高等 學校を志望してゐることである。これは卒業生の父兄が多く府內の官吏が多いことを裏書きする、そして高商などと云ふ方面の志望者が尠い即ち卒業生の殆ど全部の父兄が官吏であると言つても差支へない尤も本年度に卒業すべき生徒で昨年八月內地の各高等學校の

試驗 に應じて十九名が合格して九月に退學したものがある、本年度に高等學校の入學希望者が增加したのは社會各方面の人物を需要する際に從來よりも高き學校の卒業生を採用するやうな傾向がある爲めに自然高等學校入學希望者が殖ゑ行くのではあるまいか

我社主催 內地觀光團は何處へ

人氣を聚める 大分藝妓の濱田踊

目下一心不亂に稽古中である 電氣應用の『人間製造』とは何?

大分にて 八島特派員

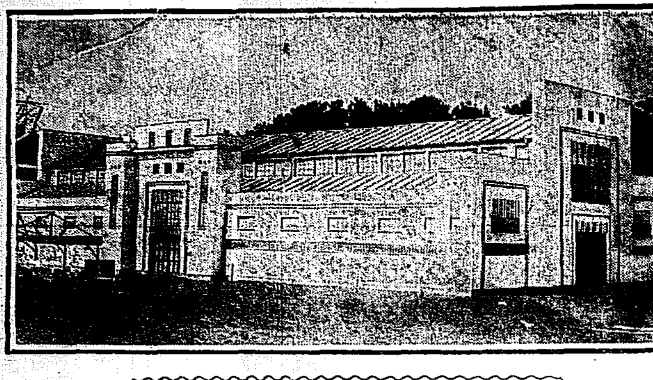
共進會中呼物の一たる美術館に於ては日本畫、洋畫、彫塑等を陳列し新界に刺激を與へ進歩を促進せしめる目的であるが既に多數の搬入を見たので陳列方法に付考究中である。

じ各館を浮城の如く見せ偉觀を呈する外每土曜日の夜は煙花大會を催し美觀を添へる計畫である。尚ほ共進會開期中は數十の各種大會が開催せらるゝ事になつて目下夫れく準備中である

演藝館 は縣協贊會で開期中種々な餘興を催し觀覽者に見せる計畫で目下準備に忙殺されてゐるが同館の呼物となつて居るのは此千載一遇の好機會に於て大分藝妓の技倆前を大いに發揮しようと云ふ素晴らしい意氣込みの藝妓手踊り及濱田踊で目下一心不亂の稽古中である背景は又頗る凝つたもので大分市內の名所をあしらひ

大分券 選抜きの美形が指す手引く手鮮かな舞の手を見せ觀客を惱殺しなければ置かぬと云ふ評判殊に十七八の若い娘が揃ひの衣裳で蝶に連れて舞ふ鶴崎踊もあり夜間は浪花節、落語、奇術、喜劇を演ずる事になつて居るが就中新電氣應用の『人間製造』に至ては眞の人間を惱いたり造つたり自由自在にする樣に見せ觀客をアツと云はせるさうである

夜間は 反射燈を點じ



九州沖繩聯合共進會場 第二會場美術館

寬大な處分を受けて 淚の滲む程嬉しかつた

文化政治の徹底 積極的に忠順を說く 平北警察部の施設

近世の刑事政策の傾向が犯罪人を威嚇改善淘汰して社會や法律の秩序の保護を目的として居る樣であるが全く其の通りで既に悔悟し自ら改化遷善の餘地ある犯罪人を強て牢獄に繫ぎ苦痛を與ふるには及ぶまい殊に一昨春來の騷擾事件や獨立運動に何の

理解 も意見もないのが或は內心其非を知り乍らも他の方からの使嗾や脅迫に依つて干與したものなどで警察署や檢事局の取調を受て其の不逞運動の根據なき誇大な妄想であつたことを覺醒したものなどには相當の訓戒を與へて爾後の行爲を保證する何ものかがあればそれを僅六ヶ月や一年の禁錮に處したるよりも却て前に云ふ

刑事 政策の主義に一致する譯だ窮鼠猫を嚙むといふ經驗が自分達も今迄屢味つた自分が惡かつたと其の非を悔い改めて居るのに更に其の罪を問はれると云ふことは隨分辛棒强い理性の人でも自暴自棄に墮ちいらざるを得ない私は朝鮮の現今の司法官に此點に特に留意を望みたいのだ

近頃 平安北道の定州

淚の出る程嬉しかつた斯うして齋藤總督の文化政治の恩威が着々事實となつて現れて朝鮮の民心が御稜威に浴ひ發榮して來るのは遠い時ではあるまい此等

寬大 な處分を受けた人達に對し石黑警察部長は警察行政上の立場から新政の趣旨を徹底し更に積極的に忠順の義務を鼓吹すべく二月九日は定州に十七日は通谷に出張して諄々として古代に於ける朝鮮と日本との關係日本建國の精神と其の使命併合の趣旨獨立運動の妄想を民國特の皇國哲學より批評解剖して懇切丁寧に諭示されたら孰れも多大の

感動 を與へたと見て代表者を選んで將來は良民となるべきは勿論陰に陽に警察の爲め盡力し倍進んで村民にも官憲の新政の意圖に副ふべきことを申出て部長出發の際の如き村民等で之を見送り感淚をこぼして至つては積雪の上に下座號泣して其の德を謝したものが二三あつた

怪しからぬ迷信

迷信深き鮮人には屢々突飛な事を行ふが近來北地方には流行性の惡急手當は共同墓地に埋葬した蕃口痕に感染した牛に對し之を發見して一年以上經過した小兒の死體を發掘して一部の骨を黑燒きにし其の粉末を五六寸位の竹筒に入れ之を患牛の口內に吹き掛くれば全治すると云ふが實に怪しからぬ迷信であると

今年の春着 船來物でも二割安

唯工賃が昔の儘なので 新規注文は依然尠少

一杯に春らしい日の光りが漲つて其處等の物の影が何となく柔かくなつて來た所で今年の

相著の相場 は什麼かと言ふに低落して昨年の高値の相場から見ると三割强安でこれを平均相場に引直すと二割強となる譯であるが毛織物は如何に下がらうとも工賃は依然として昨年の高値を示した儘である上に引續いての不景氣に祟られ新調を思ひ立つ向きが少くないとある某洋服店に就て聞くと『上等の

舶來物でも 今年は殆ど一割方の下落ですが、職工の工賃は一向下がらないので大體から言ふと其れ程安くないことになります、先づ上等セル地の相場が百二十圓前後、ホームスパンも是れと變りません、注文ですが何分未だ少し時期が早いので思つた程ありませんが今月中頃になれば昨年と變りはありますまい』との事である、又中流階級の客を專門として居る某洋服店では『舶來物は別ですが

內地物です と四割以上の下落で五十圓前後で兎に角相當な相著が出來ます、然し注文は昨年と同樣控へて居る向きが多いので未だ數へる程しか有りません』と

國境警官の平和餅

餅搗委員を出して赤鉢巻で

平安北道は昨夏石黑部長が赴任以來渡瀨の元氣と感激に滿てる誠心と奉仕の至誠とを鼓吹し炎熱石を爍かす天摩山の

賴貢書秋霜 の夕べ討伐隊の先頭に起ちて其範を示してから道內二千警察官の奮起不眠不休不逞徒の掃蕩に盡したる結果さしも跳梁を極めし鼠輩も始めて大言壯語何處へやら昔人時の結氷期にさへ何ごともなし得なかつたのは愉快だが殊に某等が陰謀の中心とした

義州の警戒 に從事した義州署及警察部員の勞を犒ひ且つは意氣を旺ならしむる爲め同部長は糯米一俵を寄贈されたそこで警察部に於ては二月十九日土曜日に各課より餅搗委員を二名出し小使室に於て赤鉢卷の杵音高く餡豆粉等を作り會議室に於て部長以下七十八名卓を圍み

平和餅に 舌鼓を鳴らし親威興樂に陽き行く平和な平安の春を祝福した

緩衝機 (投書歡迎)

書籍雜誌一割値上の不當

市內 無名生

◎私は一割高を不當とする理由の極めて簡單且明瞭なる事例の二三を舉げ權威ある當社の手に由りて此の不當利得を根絕し讀者の不滿を一掃せられむことを望む

◎玆に淑女雜誌あり定價七十錢也すべし郵稅皆に二錢を以て足る而も賣價は一割高七十七錢を以て販賣す即ち賣額五錢は不當利得にあらずして何ぞや猶此の計算は杜撰たるを免れず依賴は一冊宛郵送するを要せずして店頭に陳列するを得べし鐵道便あれば

◎又玆に十圓の法律書あり十一圓を以て販賣す直接に注文せば十一圓を要せず書店は普通小包料以上の運賃を支拂ふの理あることなし

工關釜連絡船 發 朝七・五〇 夕八・三〇
十二日 朝 對馬丸 夕 新羅丸
十三日 朝 壹岐丸 夕 博愛丸
十四日 朝 對馬丸 夕 新羅丸
十五日 朝 壹岐丸 夕 博愛丸

慶安太平記 第一二三席

小金井芦洲講演

正『那の節本堂で此の方の粗忽から足を踏んで先方でも大層譲して別れた、すると又仁王門前の水茶屋で憩うて居る所へ入つて來て落合つてお互に姓名を打明かした牧野彌右衛門と言ふ御仁があつたツけのう』九『エ、左樣々々、然んな事がございましたな』正『行德の源顯寺門前材木渡世相模屋平兵衛の裏店に住居を致すといふを那の節にも申たが、今日此土地へ偶然にも參つたこそ幸ひ、鳥渡尋ねて見たいと存ずるが、其の相模屋といふ家で聞いて見たらば分らうと思ふ、どう言ふ暮し向きを致して居るか、また健在であるか、鳥渡尋ねて來て見れるやうに』九『畏まりましてございます』言ひ付かつて鵜野九郎右衛門が德顯寺の門前の材木屋相模屋平兵衛の宅の前へ來て見ると、どうして却々大きなものだ、向ふの木小屋では木挽が頻りに大きな木材を挽いて居る、中若衆が四谷丸太に鋸を掛けて居る小僧が板割を縄で束にして居ります、奉公人も二十人以上も居ります樣子、ズイと入つて來た九郎右衛門が九『ア、少々物を尋ねるが』○『へイ入らつしやいまし、何んぞ御用で……』九『イヤ越前福井の浪人で、牧野彌右衛門と仰しやる御仁が當家の裏屋に住居を致して居る筈ちやが、未だ其所に住居いたして居られるかな』すると帳場の內に眼鏡を掛けて帳面を記けて居つた五十四五歳の老人、店の端へ出て參りまして×『へエ、是ア入らつしやいまし、お尋ねになります其の牧野樣、何でございませうか、貴方樣は御身寄でございますか御親類樣でゞも在つしやいませうか』九『ウム、少々所縁のある此方は間柄……』×『ア、左樣で……では申上げますでございますが、手前は當家の主人相模屋平兵衛でございまして、イヤもう彼の方の事に就きましては私も困り切つて居ります』九『困り切つて居るといふのは』平『あの方は何でございます、一昨年の夏のことで手前共から七八軒先に松屋と申す宿屋がございます、これへお泊りなさいました、そうすると其翌朝から寒熱が往來をして甚い御病氣でございませぬ、元々お持合せなども澤山あつた譯ではなし、醫者其他の手當は捨ても置けず宿の方で致しましたが、サア病氣は段々良くなつて參つたが、宿の一切の勘定が出來ない、どうにも斯うにも仕樣がなくなつて双方が困つて居りました』九『成程』平『そこへ私が遊びに參りまして其話を聞いてお氣の毒に思ひ、お客樣にお目に掛かつて段々お話を聞くと越前の福井を御浪人をなすつて何の當もなくブラく出て來た所で斯んな病氣になつたといふ、尚段々お聞き申すと如何にもお氣の毒なことばかり、どうも知らぬ他國へ出て來て身體が惡くなつては一文の蓄へがないとあつては嘸心細からうと存じまして、ちやア斯うなすつたら好うございませう、お早受申したばかりで立派なお武士樣、算筆諸道もお出來なさるに違ひないから私共には奉公人が多く居ります、何處を指てお出でなさるといふ先がないのなら當分手前共へ來てやつて下さい、で此處の勘定は手前が一切排つて差上るから失禮でけすが私共へ來て遊んで居らつしやいましと申上ますと』九『フムく』平『彌右衛門樣も大層お喜びなすつて何分頼むと仰しやる故、勘定一切を致して私共へお引取申上ました、所が本は何でもお讀みなさるし、第一御手跡もお立派であるし、ア、好い方をお救ひ申上げたと私も實は喜んで居りました』九『ア、左樣か』

京染な 本町三 電三〇六八 まらぎ屋京染店 地方は注文の迅速を旨とし

皮徽科 (診察夜九時迄) 皮徽 麻病 (入院隨意) 京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一參七一

皮徽科專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

今最好期 染物の みのや 京染店 櫻井町 電一四六二

將棋新手合(三)

於京城旭町三丁目溝呂木將棋所

角落 七段▲溝呂木光治(京城) 二段△熊谷順太郎(京城)

圖は前號指了迄の局面 へ持駒 熊谷氏 なし

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂						桂	香
					銀			
		桂	金	銀	王			
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
	歩						・	
歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
	歩		銀		金		銀	
		飛				金	玉	
香	桂		角				桂	香

つゞき 平出自號▼ 第十四

△四八角(八)▲三三桂△八八飛▲五二玉△七七桂▲六二玉△八六步▲同步△同飛▲八五步△八九飛▲四三銀△八二飛(二)▲七二玉△六五步▲同步△八四角▲同飛△八五桂▲同桂(以下次號)

溝呂木七段講評

△(八)四八角は早し此處定跡通り八八飛と指す處なり

△(二)八七飛上りは惡手なり此處穩に三七桂と指すべし倘以下の手段無謀なり

三月十三日 (舊曆二月四日)

△日曜日△乙亥△九紫△昴宿△成△暗劍南方△大安

▼九紫▲我が身に不釣合な企てをして破れを來す日愼みが第一

▼一白▲不面目千萬なる事ある日出る杭は打たれるものと知れ

▼二黑▲萬事順調に運ぶ日臆せず進んで大に敵を挫く待人來る

▼三碧▲盛運の日新しき方面に活動開始して可但し驕を戒しむ

▼四綠▲技倆を認められ貴人の援助を得る日自重するほど有利

▼五黃▲出世の基點となるべき日養子女を定め婚約を結ぶ又妙

▼六白▲迂濶して一杯喰はし込まる事ある日保證紹介は禁物

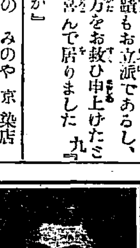
▼七赤▲氣緩みなければ諸事達成するも自惚れては大破れの日

▼八白▲嬉しき事ある日開店旅行求職其他金談結納婚上々吉

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 井町 大正館 電話八七三
當る三月十二日より新映畫提供
◎實寫 カスコーニー灣遊覽
◎滑稽 大勝利
◎新派悲劇 母の心 全六卷
◎新派 向島派大努力映畫
◎舊劇 梁川庄八 全七卷
連續探偵劇 呪の家 全二十三篇ノ內第八回

天下一品新講談 伊藤仁太郎事 伊藤痴遊氏 當ル十二日ヨリ十七日迄講演 京城明治町 於 浪花館



黃金町 黃金館 電話一六二七
當る三月十一日より引續き特撰傑作
△敎育 一宮尊德 全五卷
△大好評 曲馬團の秘密 全五卷
△新派大悲劇 大尉の娘 全五卷

本町一丁目 喜樂館 電話五九七番
當る三月拾一日より封切 三大映畫提供
新派悲劇 其夜の一念 全五卷
西部活劇 フロードウエー荒し 五卷
舊劇 彥左衛門と大助

明治町 浪花館 電話一六〇番
當ル三月十三日ヨリ 天下一品新講談 伊藤痴遊氏來る

本町九丁目 電車終點 浪花座 電話三三八番
近日東京新派 新劇團一行來る

何町が一番? 追ふて戸數の增加しつゝある市街附近に於ける物價と同市場に至る相違、値の多少、質の善惡、保[illegible]

大體の所が 判明する 第一こし次いで明治町市場附近 旭町市場附近米倉町市場附近 本町四丁目 [illegible]

進行中の 列車から [illegible] 混合第十一列車が鷺山大邱間運轉中大邱警察署警官が釜山より[illegible]は頭部に擦過傷を負ひたるのみ

(哈市發電)哈爾賓に於けるペストの病況は依然猖獗を極め六日新患者四十三名なるが同日迄[illegible]

無慘の轢死 姓名不詳の男

[illegible]るが住所氏名不明にて目下調査中なり

……一般物價は……京城府内に於ける諸物價が日を……附するに至れること、も最早學ができるであらう……れぬ事實である、試に公設市場……然し物價の比較は品物の産地の……賀さを點見し然る後其價格を對照して見れば……町目等で……價の最低……は先づ花園町公設市場附近を云ふに至つて那邊の消息を知る……だしきは三割餘の相違があるこ

護送中の犯人 脱走を計る

十日午後七時頃釜山發南大門著……列車……警官の隙を窺ひ……より飛び降……を以て護送警官も續いて飛び降り難なく之を逮捕したるが犯人……

虎疫猖獗 累計六百餘名

……七……八……三……一七五名なりと

湖南線で

……列車運轉の際……の左側より突然飛込アヤミ云ふ間もなく無惨の即死を遂げた

熱誠を籠めた奉迎裡 禮砲殷々砲煙濛々

東宮御健かに香港へ御入港 此日天氣晴朗投錨の音もいと清々し

東宮殿下御召艦香取供奉艦鹿島の兩艦が十日午前九時香港の港口に威風堂々として現るるや禮砲はクラン砲臺と交換され砲聲殷々砲煙濛々香港を包めり

港口迄奉迎 せる在留邦人を載せたるランチ二十餘隻は御召艦附近の海面を航進し奉迎の日の丸旗を振翳し熱誠を籠めて奉迎せり香取艦は鎮守府海岸に鹿島も亦豫定の錨地に投錨せり此日天氣晴朗風稍強し温度は七十度殿下の御上陸は不明なるも

或は御微行 にて鎮守府棧橋より御上陸遊ばさるやも知れず小栗司令長官は十日公式上陸にて香港知事を訪問すべく亦香港知事は司令長官を訪問し香取艦にて殿下に拜謁を賜はり祝辭を言上せり（香港十日發電）

香港へは二日間 御碇泊？

（宮内當局の談）東宮殿下最初の御豫定は香港に四日程御滯在の筈であつたが御上陸がないとすれば案外早く同港を御出港あらせらるゝやも知れず勿論閑院宮殿下も御上陸はあるまい供奉員の内御名代として誰か〻總督に對して答禮の意味にて上陸したかも知れぬ而して香港にて全部夏の御用意をなさるゝ事になつて居るから港内で二日間位は御碇泊あらせらるべしと思ふ（東京特電）

御紋章 艦首に燦たり

小栗司令官上陸に際し英國軍樂隊の奏樂も勇ましく 禮砲交々交換さる

小栗第三艦隊司令長官の訪問に對し香港太守は午前十一時半答禮の爲め **旗艦鹿島を** 訪問せられ之にて日英間の訪問は完了す十分是等の道筋は英國軍隊一ケ中隊英人巡査及び印度人巡査を以て嚴重に警戒せり小栗司令長官上陸の際は英國軍樂隊奏樂せり日英軍艦は司令官及び **太守訪問の** 際禮砲を交換せり海岸通りは歡迎の日英人少からず港内滿艦飾の小蒸汽船織が如く往來せり御召艦は御微行の事とて皇太子旗なきも御紋章は燦として艦首に輝けり

優渥なる御諚 を給ふ＝鈴木總領事謹話

（鈴木總領事談）十日御召艦香取が香港港に差蒐りたる際東宮殿下には艦橋に御立ち遊ばされ艦長以下御近侍に對し種々御下問あらせられたるが入港と共に御機嫌殊の外麗しく拜した尚殿下には長途の御航程にも拘らせられず聊かも御疲勞の御模樣なく頗る御健全の態に拜した余は（總領事）在留二千の邦人を代表して謹んで御出迎へ申上げたる旨言上したるに對し優渥なる御諚があつた尚閑院元帥宮殿下にも御容體遊ばされた（十日香港發電）

飛魚の瑞祥

東宮殿下御航海中香取鹿島の兩艦へ期せずして飛魚各三尾宛が飛込んだのに對して入江侍從長が國風を詠じ奉つた旨の電報を大臣室で披露した所折柄居合した元田、野田、高橋の三相が之亦東宮殿下の御前途を祝し奉るとて

大洋の魚も喜び迎ふなり天津日嗣のみひらきの路　鐵道大臣　元田肇

魚のぼる香取鹿島の朝日かな　大藏大臣　高橋是清

御祥瑞や魚も歡喜の春の海　遞信大臣　野田卯太郎

殿下御航海中の御動靜に就て

松原海軍少尉謹話

横濱を出航して流球を經十日香港に入港するまでの御航海は決して平靜な海ばかりではなかつた御航海中時々風波もあつたので御召艦は

可成り動搖 じたことがあつた其の時自分等は平生と些も御異りなき東宮殿下を拜することが出來た、艦内に居給ふと云ふ御感しが極めて薄く在らせられるとは自分等には思へない程如何にも勇壯なる御姿であつた毎日の御日課は

何等御變更 もなく午前六時半か七時には必ず御目醒め遊ばされ御朝食後は艦橋で航路とか水路とか海洋氣候等に就て御研究があり其の後では必ず甲板で球撞きの御遊戯を遊ばされる。此の時の殿下は申すも畏れ多いが如何にも御愉快げに渡らせられた

御晝餐後は 讀書或は佛語の御研究を專心に遊ばされ午後三時頃には晩餐を遊ばされるは順序で御日課は少しも御遲滯になることはない又孝心の深く居らせられることも屡承はつたことであつたが今回の御航海中にも御起居其の他の

御動靜など を無線電信で一々葉山の兩陛下の御許迄御報告遊ばされる一事で自分等は御謙德に感心したのであつた又殿下が御寫眞に趣味を持たせ給ふことで御日課の暇には寫眞機を手にし給ふ御姿を拜した沖繩御上陸の際御撮影になつたものなどは洵に優秀な御出來榮と拜された（香港十日發電）

孝德殿にて 禪祭御執行

大祥祭の喪祭服が全く平常服に代る

李王職に於いて來る十九日孝德殿禪祭を執行し三月卅日より故太王殿下の御付廟の儀執行の筈なるが右に就き禮式課長李恒九氏は語る『禪祭は色直し祭りと云ふ意味で大祥祭の喪祭服が全く平常服に復するもので大祥祭の御儀と同樣十八日夜孝德殿で執行の筈付廟は御神靈が孝德殿から御陵へ遷奉される祭祀で古式のものであるから御行列は頗る盛なものです最う行列の順次などは大體定まつてゐます。勿論此等の祭儀は李王家として先づ公式のものではないので政務總監閣下が臨まれる理由がありません』

酌獻禮祭 御親祭延期

金谷までの道路修繕完了迄

故李太王殿下御付廟の前に執行せらる、李王殿下の金谷御陵に於て酌獻禮祭御親祭は今十一日を以て執行の筈であつたが道路其他の關係上

耐廟の儀 の後陽春四月を以も執行に延期せられたりと右に關し國分李王職次官は語る『酌獻禮祭は付廟の前後に執行せらるる王殿下の御親祭で十一日の豫定であつたが金谷までの道路が辛じて自動車を通じ得る程なので道當局とも交渉の上道路修繕を了る四月頃に延期になつた次第です』

◎護國寺例月布教　旭町三丁目護國寺に於ては左記例月布教會を修するに當り一般の參詣を望む▲十二日夜八時より宗祖御逮夜法要並說教▲十三日午前十時より日宗兒童教會新山、齋藤、先生の御伽噺宮田先生の『おいのり』午後二時より日宗婦人會例會『菩薩行』逸見司監

山田憲最後の審判 死刑と決定

大審院に於て上告の理由なきものとして却下

世にも恐ろしき殺人の大罪を犯し世間の耳目を聳めたる山田憲最後の審判は大審院に於て十日午後一時半より開廷裁判長より本件は上告の理由なきものとして上告却下の言渡しを受たり結局山田憲の判決は死刑に決定したり（東京電話）

朝鮮銀行から 帝大の講師に

招かれて行く藤田文學士

朝鮮銀行總務課勤務文學士法學士藤田喜作氏は今回東京帝國大學文科内に新設された『社會問題』の講座を擔任して赴任することに決定した、

光熙門町 一丁目の自宅に訪問すると、もうすつかり荷作りした大小の行李が雜然と置かれ引越氣分が四圍に漲つてゐる氏は學者肌の沈着な態度で語る『自分は大正四年帝大文科を出て尚それのみでは研究が足りないから一ケ年大學院に通つて社會學の研究を續けてゐたが從來金子博士等の說かれる所謂文科の『社會學』の講義は

抽象的に 流れる憾があり直に經濟科に籍を置いて二ケ年研究し略資本を對象としての今日各國に行はるゝ經濟組織の上に出發した社會問題の學理的研究を續け大正七年八月始めて朝鮮に渡り直に奉天の鮮銀支店に赴任したが彼方では主に殖民地に於ける

文化機關 に携はる人々と出入して金利採算と言ふ方面を主とする銀行には不似合な寧ろ無用に近い研究をしてゐたが然し銀行が御承知の通り大きいから昨年九月本店に歸つてからも總務で主に滿洲朝鮮の殖民策やら金融狀況…を調査研究して愉快に仕事をしてゐたことを嬉しく思つてゐる

從來帝大 には法科に社會政策の講座があり文科に社會學の講座があつたが法科の社會政策も文科の社會學の講座も何れも最近の所謂經濟問題勞働問題殖民政策を抱擁した社會問題でなくして何れも一方に偏してゐた今度帝大に來る新學年から開設さるゝ

社會問題 の講座は現在各地で論議さるゝ所謂社會問題の研究で自分も性來好きな科目ではあり近頃久しく書籍に遠ざかつてゐるけれど引受た譯であるそれこれの準備もあり來る四月の新學年からの開講であると云ふから直ぐ出發せねばならない、因に氏は來る十三日午前九時四十分南大門發列車により出發の筈である

帝大社會學講師に招聘された藤田喜作（於十一日自宅）

今年の家賃は 廉くなる

京城府の社會的施設事業

十年度の豫算内に編入されてゐる京城府の社會的施設事業としては昨紙所報の

都市講座 及府營住宅等なるが聞く所によれば府營住宅は龍山岡崎町練兵場附近に於ける官有地の貸下を得たる上此處に百四十戸の家屋を建てるのであつて内四十戸は小住宅とし（一棟二戸のものを廾建築す）

一戸の建坪 十三坪前後の家屋の調節を目的とする所から成るべく低廉に即ち十五六圓の家賃を以て一般月給生活者に貸與すべく殘餘の百戸は之を長屋とし（一戸の建坪三坪五合各戸温突一間と臺所あるのみ）として細民階級者に

救濟の意味 で貸與するのであるから極めて低廉なる家賃を徵收するのだと云ふ然し府營住宅が果して實施されるか否は來る十五六日の交に開催せらるべき府協議會の議決に俟たねばならぬ未だ之を豫斷することはできないのである

大本教の大檢擧

武裝警官の一隊綾部を襲ひ 本部の大搜査を開始

別働隊は大正日々新聞社に乘込み 教主王仁三郎を奪ひ去る

所謂筆先が累をなして藤沼京都府警務部長の率ゆる武裝警官の一隊百三十名は綾部に急行し大本政府と自稱する大本教本部を包圍し教監文學士淺田和三郎及び機關紙大本時報署名人吉田祐定の二名を拘引し一方藤原刑事課長引率の別働隊は大阪府警察部の應援を得て大正日日新聞社より教主出口王仁三郎を拘引し直ちに京都監獄未決監に收監せり淺野、出口兩名の罪名は不敬罪及新聞紙法違反、吉田は新聞紙法違反なり尚同時に大本教本部は大搜索を受けたるが澄子、直靈の二名も近く拘引さるべし（京都發電）

孤兒は何處へ行く（4）

京城府内社會事業調べ 救世軍と嬰孩院 基督教に出發した二つ

純然たる宗教に出發してゐるものに半洞口救世軍育兒ホームがある

救世軍は 人も知る米國心靈界の覇者ウイリアム、ブース大將が全米國を始め殆ど全世界に婦人ホーム育兒ホームを設けて身に惱みあるもの、心に惱めるもの、頼る邊なき遺兒孤兒浮浪兒の爲めに專念と救濟に努めてゐる、京城支部ではステーフンス氏を總司令官とし以下全部

軍隊式の 組織編成で之が教化事業には學校制度を採用し救世軍士官中の鮮人數名を選拔して兒童の教養に當らせてゐる本育兒ホームの援助機關として設達鏖氏外數氏の發起で京城貧兒教育所後援會が組織され相當援助を與へてゐる京城支部は大正七年十二月末頃小林源六氏の自宅の附近で折柄の凩を翳く嚴寒に身を繿縷を纏ひ飢寒に堪えないで悲鳴を擧げてゐる

鮮童二名 を憫然に思ひ惻隱の情禁ぜず小林氏が金四百圓を寄附して救世軍に之の二名の鮮童の教養方を依賴したのが動機となり遺兒孤兒乞食兒童を收容し現在では八歳から十七歳までの乞食兒童四十二名を收容し普通學校一學年程度の國語漢文算術體操唱歌等を教へて浪々の末遂には一生を暗きに終るやうになり勝手な

下層貧民 の子弟の教化事業をやつてゐる又收容兒童中年長者で勞役に堪ゆるものには繩草鞋等の作業をさせ後日の自活の道を講じてゐる然し本育兒ホームは創立當初の小林氏の寄附を基礎とし大正九年度に於ては收容兒童の食費、衣服費其他に約四千餘圓を費し創立後八年度末までに

三千餘圓 を投してゐるが未だこれ等兒童を收容する家屋を有せず今の所同軍士官學校の教室を收容所に宛てゝゐるが本年四月が士官學校の開校期なので早速之が收容所を建設せねばならぬことになり九年末其の筋に補助金下附を願出て居る

聖保祿嬰孩院 は同じく宗教に出發してゐるもの本町二丁目聖保祿嬰孩院がそれ。同院はフランス人スールカミロ氏の經營する所で宗教に依り靈魂及肉身を救濟せんとするので外國聖嬰會よりの送金並に慈善奇篤家の

寄附金に 依つて乘額一萬六千三百六十四圓（大正八年度經費）を支出し廣い此の世に頼る邊ない不幸な孤兒十四名を收容保育してゐる

行方も分からぬ 妻を訪ねて三年

所も同じ四國から遂にはるゝ海を越へて朝鮮へ

その昔阿波は鳴門の十郎兵衛の妻おつるが巡禮に身を窶し娘をたづねて義理の涙にかき暮れたと云ふ世話もある……逢瀬に身も世もあらぬ涙にかき暮れた妻の行方に……こゝに又家出をした妻の行方を探すこと三年遂に海を越えて朝鮮滿洲の端までも可愛い妻の後を訪ねて歩く

男がある、原籍香川縣高松市内町に洋紙を商ふ三木重吉（三八）と云ふ男がある、重吉は去る七年六月纖繡望みで當時三つ違ひの小町と謳はれた清子（三〇）を貰ひ受て新婚の夢濃まかに燃盛く若い夫婦は翌々年の冬までは夢まどらかに

短夜を喞ち ながら暮してゐたが月に叢雲の愁あり何時しか二人の中には疎隔が出來些しのことは爭闘ふやうになり果ては犬も喰はぬと言ふ夫婦の爭ひをすることも一再ならずあつた、遂に破端の日が來た相離れ行く二人の心は何うにもならなかつた年の三月のある夜

激しい口論 の後…その夜いとしい妻は密かに家を出て行方も分からずなつた……の日鷗の日の搜査も更に其甲斐なく頼と行方不明にて幸吉は……として業み沸かし居たる矢先支那安東縣在住の妻清子の父より幸吉の知友某宛に發せる書面により

同年七月頃 次の許に居れ行ける旨の趣きあるを聞き込直に人を迎へに遣りたるも又く姿を晦まし其後同鄉の親友大山某の娘に……下ノ關新地町洋食料理店キリン亭に奉公中の行の便りありたるを聞き幸吉は……可愛い清子は又しても……下度こそはと心勇みて下ノ關に……きたるに既に本人の姿に見えぬ後の祭りで何の得る所もなく

引返せしが 偶々近時商用の爲め下の關に出張する機會あるを幸ひに前記洋食店キリン亭其他につき、それとなく妻の在住當時の模樣をさぐればこはそも如何に聞くも忌まわしき複重ね仲居奉公中下の關新地町當時福岡縣戸畑の活動常設館東洋館の辯士西村政一事藝名久松浦抱（三〇）の小意氣な姿に道ならぬ思ひを寄せ此の新派劇のフイルム通りの

場面は展開 して遂に手に手を取りて……大婦關係を結び……居たが兩人は手に手を取り……朝鮮で共稼ぎ……に來る……

妻の取押へ 方を……

公普の 修業年限 延長となる

教育制度改正の結果公立普通學校は大正十年度より修業年限六ケ年に延長さるゝ筈なるが京城府では九年度より校洞、貞洞、於義洞、龍山の四公立普校の修業年限を六年に延長し從つて本年は卒業證書を授與せざる由にて教科年限の變更左の如し

一、修業年限六年とす但し於義洞、龍山兩公立普通學校に於ては女子は四年とす

一、教科目中算術の下に日本歷史、地理を加へ龍山公立普通學校に於ては『手工』を『商業初步』に改む

京城女子公立普通學校は大正十年度初より延長の筈なり

撫順の記念日

陸軍記念日として三月十日は永く我國民の忘るべからざる日殊に滿蒙の地に活動する同胞は一層意義ならざるべからざる此の日は風靜かにて而も大なる空は紅色を呈し既往十有餘年の今日を回想せしむ一千有餘の在鄉軍人は午前八時より當地小學校新講堂に於て勅諭奉讀式あり次いで盛なる銃劍術優勝試合あり午後よりは守備隊在鄉軍人及び一般邦人の聯合祝賀會を守備隊營庭に開催頗る盛會を極めたり尚營内に於ける種々なる餘興は在留邦人の爲め觀覽を許せし爲め營内は多數觀覽者に賑ひたり（撫順特電）

今朝渡歐出發の際は御多用中にも不拘御見送りを忝うし奉感謝候以紙上御厚禮申上候

三月十一日　中村與資平

近日發表の 某重大事件

京畿道警察部秘密裡に活動

京畿道警察部では過般來府内某方面で大活動を開始し九日より刑事室に於て犯人に對し嚴重取調べを續けつゝあれば近く……事件に關する支那人……鮮人等數十名が逮捕し十一日は……某大事件發表せらるべし

運動界

送別庭球會

安東テニス界一方の雄たりし三井物産の杉本君今般大連支店に轉任に付其の送別を兼ね來る十三日山下町滿鐵コートに於てコート開きのテニス大會を開催する由（安東電話）

已報の如く釜山穀物市場内米友倶樂部野球團對下の關仲買人米友倶樂部野球團の對抗戰も愈々十三日下の關高等小學校庭に決行する事に決定せしが兩軍メンバーは左の通り

釜山　島井野東西崎本弟村村崎田　高武内犬今戸山内野野中松岡

　1 2 3 4 5 6 7 8 9 補

下關　假岡島富山強本本井島新　栗平永有田高鈴山藤中田

伊藤痴遊來る

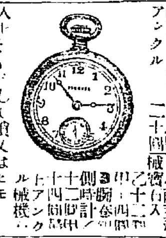
東都新講談界の覇者伊藤仁太郎痴遊氏は今回寸暇を得て今議會の問題となつた朝鮮問題の眞相を根本的に研究の爲め十一日入城十三日より三日間浪花館に於て幕末より明治大正に亘る政界秘史に就て得意の快辯を揮ふべく獨演會を開催すべしと云ふが同氏は現に淺草區會議員の公職にあるも其前半世は幾多起伏せる政界の壯士として痛快極まれる丈に其風采と其議論とは自ら當時の眞を寫すものがある事は呶々を要すまい入場料は一圓五十錢一圓の二種にて毎夜氏得意の讀み物長講三席を獨演すべしと初日の演題左の如し

一、長州軍閥の偉人　大村益次郎

一、維山陽と　川上彥山

一、憲政會を除名せられし尾崎行雄の今昔

三越呉服店
十二日より 春向ショール陳列
最新流行品潤澤
春の花の如し
學校用品陳列
新學期御入用品 着荷
京城本町

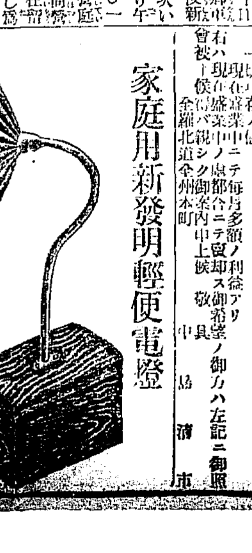
實用 正銀側時計 販賣
安價にして實用……
五圓五十錢 兩蓋16 17形……
八圓 本アンクル 兩蓋16 17形……十二圓……

日野時計店

生徒募集
私立 京城中等夜學校
學科 修身、國語、漢文、英語、數學、地理、歷史、簿記、法制、經濟
入學志望者は中込みあるべし 四月二日授業開始
京城南大門内

衛生問題演說會
期日 三月十二日午後七時半より
場所 京城公會堂
演題 汚物處理問題 田中半四郎
京城と傳染病 尿尿の衛生的處理法に就て 志岐信太郎

内科 胃腸病
石川醫院
京城本町一丁目 電話一三九〇番

全州平野屋旅館ヲ讓ル
一、宅地參百七拾貳坪
一、家屋建坪百參拾壹坪
旅館營業ニ要スル器具及夏冬夜具蚊帳等一切完備
現在盛業中ニテ毎月多額ノ利益アリ
右ハ都合ニテ賣却ス御希望ノ御方ハ左記ニ御照會被下度候
全羅北道全州本町 中島清市

家庭用新發明輕便電燈

定價 一金拾八圓 八燭光電燈 壹個 金四拾八錢 壹ケ月分藥品代金
三分ノ一ニテ毎夜五時間宛點灯ノ計算……
大阪市北區本庄浮田町八〇七
明治商會電氣研究所

各宗本山佛具御用達
小倉佛具店
京城本町二丁目 振替 電話 三二九五七一二番

元山客月貿易

元山朝鮮銀行の調査……

に於ては大差なきも輸移入は約五割を減少せり……通じ一般的に減少せり之蓋し二月は一月に於ける貿易閑散の餘……ち居りたるも陰暦正月以後各地共多少綿布の需要を喚起し多少……餘喘に過ぎず貿易商側に於ても内地市況の不味と運賃高のため……荷不足の買足ありたるのみなり北鮮經濟界に至大の關係ある明……に足るものと思料す

營林廠新工場

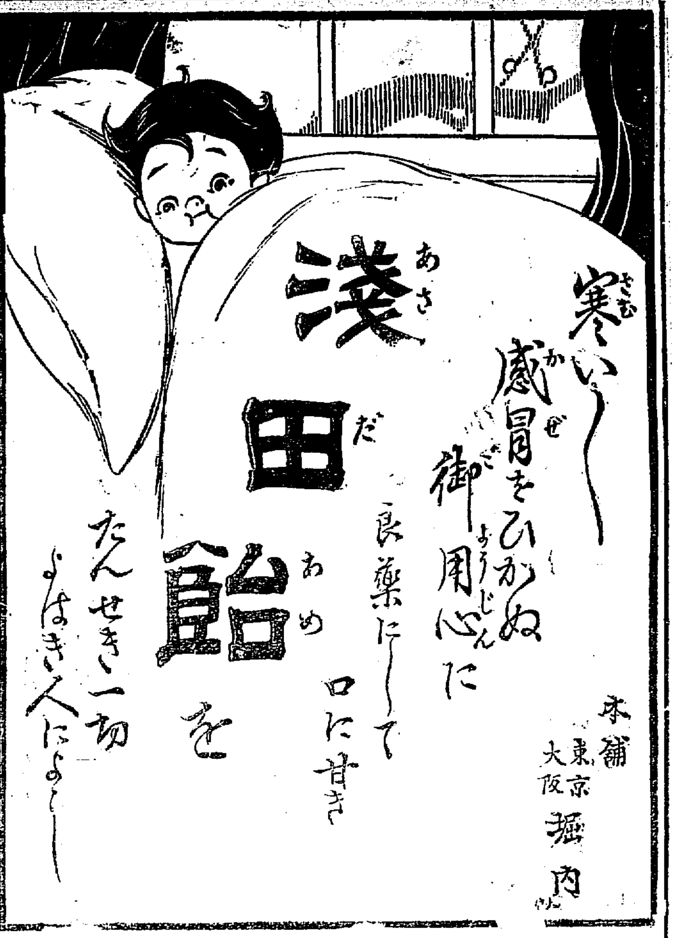
……其他……

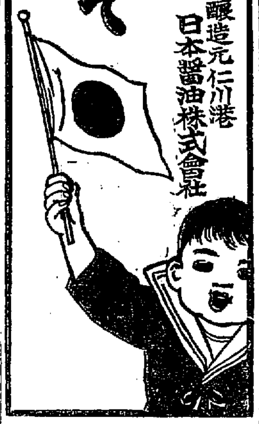
埋を敷設すべし◆數年來の懸案たる河造り工事は本流並に支流に於て約十七萬圓の工費を……は約三萬三千圓なり

川崎藤太郎

く遂に逝去したり享年四十六 氏は新潟縣の人去る明治三十七年渡鮮現在の地に居を卜し專ら朝鮮……

遺骨は嗣子近親に衛られ一度歸鮮三月六日……來會し市營市區百餘十通に及び……稀に見る盛儀なりし





TAKA-DIASTASE

胃腸疾患と
タカヂアスターゼ
高峰博士發見の本劑は胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥にして多數の臨床醫家に依り賞用せらる
内外醫家の實驗報告書あり無代贈呈す。
本社 東京日本橋區室町三丁目
出張所 大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

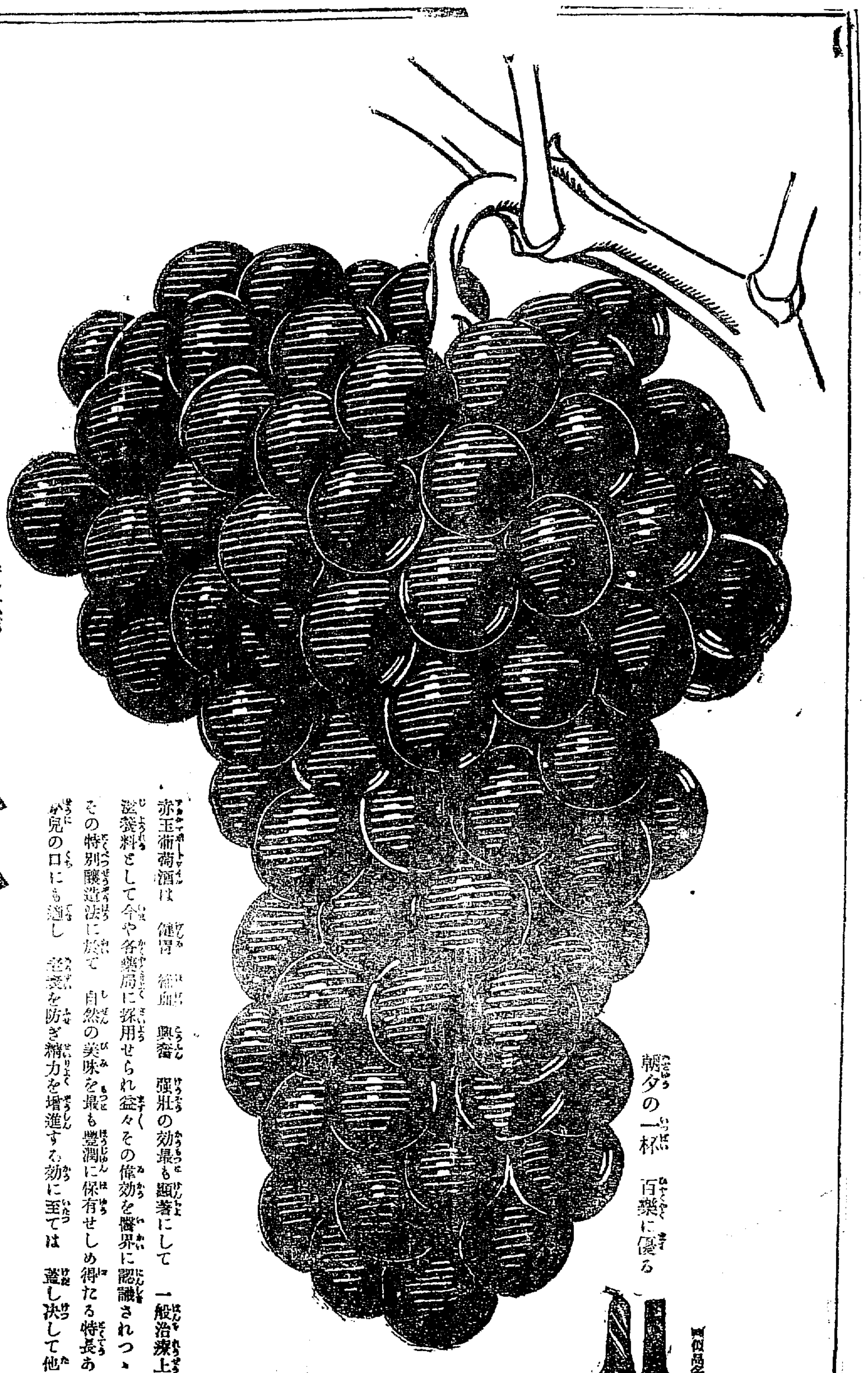
今大流行を本場正調 音譜付き
鴨緑江ぶしこやすぎぶし
定價 送共 貳拾二錢 切手代用二十五錢
京城本町振替貳貳貳參 ウツボヤ書籍店

薄利 多賣
時計 貴金屬 婦人小間物
村木時計店
京城本町三丁目 電話長四七一番 振替京城二一九三番

電話四〇九番
佐藤病院
院長 ドクトル メヂチーネ 佐藤小五郎
入院應需

中将湯
回春の靈能
コシケ
チノミチ
ヒステリー
其他の婦人病に
中将湯

中将湯本舗
東京市日本橋區通四丁目　津村順天堂　大阪市堺筋大寶寺町



七博士推奬の
美味滋養
葡萄酒
赤玉ポートワイン

赤玉葡萄酒は健胃 補血 興奮 強壯の効果も顯著にして一般治療上缺くべからざる滋養料として今や各藥局に採用せられ益々その偉効を醫界に認識されつゝあり 加ふるにその特別釀造法に於て自然の美味を最も豐潤に保有せしめ得たる特長あるを以て婦人小兒の口にも適し 衰衰を防ぎ精力を増進する効に至ては蓋し決して他の追從を許さず

朝夕の一杯　百藥に優る

類似品多し●赤玉と御指定を乞ふ

…取引所に向つて請願せる四月一日…手數料問題及び仲買人身元保證金…引所税制定に伴ふ手數料の引き下げ要望の三件及び株主內海淑郎氏外十餘名の要求に係る保…値上げ並に四月十六日より開始…

東西兩市場を觀て

京城信託をどうする

天日京取專務談

信託事業の現在

予が這次東京大阪の兩株式取引市場を觀察したる主眼とも云ふべきは（一）直引定期取引の趨勢（二）受渡機關としての信託事業（三）信託會社と仲買人との關係であつて斯界の專門家に就て所定を質す所あつたが觀察主眼中の主點とも言ふべき信託事業に就ては斯事が最近發達の商業學上の一分科に屬し學理上研究の餘地あると同時に實際方面にても實行しては問題に打つかつて更に研究すると云ふ有樣である故一言以て言へば信託事業の運用は未だ理想的完全なる方法は發見されてないと云はざるを得ないのである

東京の信託業

東京に於て現在信託事業を取扱ふ會社は帝國證券信託株式會社東京株式取引所現物組合東京證券交換所等がある帝國證券信託會社は取引所と仲買人の中間に於て補助事務を執つて居るが何樣大舞臺に於ける大受渡の決濟に就ては同社の如き小資本七十五萬圓拂込では大受渡に就き間に合はないそれで金は銀行より融通し株の融通のみを同社で取扱つて居る同社の基礎は仲買人組合で連帶責任制をとり仲買人は一萬圓の身元保證金を積立信託會社で保管し其の他に賣買高により一株幾何かの積金を爲し同じく信託會社が保管して居る證券交換所は先づ取引所と信託會社を合せた樣な仕事をして居る之は目下問題となつてる株式市場法案の成行を睨め法案通過後に市場たる權利を獲得せんとして居る

大阪の信託業

大阪方面に就て言へば株榮會、大阪現物取引所、大阪證券交換所等があるが何れも其實力に於ては相當の者である身元積立金及賣上げ積立も東京と似て居る

兩市場の比較

東京は定期取引に對し直取引數は一割位であるが大阪は定期の半分は直取引であるのみか時によれば直の方が多いともある之は大阪方が株式思想が一般的に仲買よりも客の方が發達して居る結果であろうと思ふ▲斯くて朝鮮人の如き商取引に於て結末を早く見たいと云ふ氣風の者にては例の翌日渡の如き取引方法が自然歡迎されると考へる最後に京城證券信託會社の組織及取引方法を如何にするかは今後に於て論議決定されるのであるが結局東西兩市場の型を其儘に當はめる譯には行くまい其の理由は（一）舞臺が違ふ（二）經濟の程度が違ふ點にある且又市場法案が如何に決定されるかも注目を要するは勿論である

火藥供給機關

土木協會の新計畫

朝鮮土木建築協會にては來る三月限り朝鮮に於ける唯一の爆藥物の供給機關たりし三井物産株式會社が或る事情の爲從來の機關を放擲して爆藥物に對する關係を一切絶たんとするを聞くや朝鮮の啓發は一つに據る諸事業の先驅たるべき土木事業が從來に於てすら終始爆藥物使用には非常の不便と一部斯業者にして利給の途を壟斷する者のある爲に頗る困難を感じ來りたるに加ふるに唯一の機關たりし三井が其關係を絶つに至りしが層一層關係者の營利の餌に供せられ益其發達に障碍せらるゝものなるべしとなし今回同協會を中心として營利に偏せず獨占利益壟斷に驚かせざる斯界發達を目的とする火藥及び之に關聯する供給機關を創設し朝鮮の眞の開發を助成せんとの趣旨書並に目論見書起業豫算定款等を作製じ關係者は勿論賛同を求めつゝあるが成績極めて良好なりと

若松社長談

…して認下を申請する事となれり…

中農創立總會

本年二月上旬より朝鮮農鑑具の改良を目的とする農鑑具の販賣機關として三好和三郎其の他京城有力者間に於て計畫されつゝありし中央興農株式會社は其の後着々進捗して愈昨十一日午後三時より公會堂に於て創立委員會を開催したるが資本金は三十萬圓とし五十圓株にて發起人賛成者にて殆ど株式引受濟みとなり居れば或は公募に附せざるやも知れずと

殖銀行員採用

殖産銀行に於て今年度採用すべき行員は七十名にして帝大、高商、私立大學、甲乙商業、中學校等より詮衡し約六ヶ月間各課長をして本店に於て諸規則業務の講習をなすべく之にて殖銀の行員總數は本店四百十四名、支店を合して千二百名に上るべし

鮮銀券臺割

朝鮮銀行券は上旬以來一億六七十萬圓臺を持續せしが資金回收の結果十日又々一億圓臺を割り九千九百萬圓となれり

貸出金利弛む

預金利下に伴ひ貸出金利も次第に低下傾向を示しつゝあるが京城組合銀行に於ける貸出金利は最低二錢九厘にして一般に手心を以て引下つゝあり

○日銀帳尻 九日現在左の如し

發行高	一、〇二七、一四〇
正貨準備	一、〇二七、一四〇
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	九三、七一五

○鮮銀券日報 十日現在左の如し

發行高	九九、五六八、七八〇
正貨準備	五一、二九五、五八七
限外發行	

○京阪金利 十日現在左の如し

	東京	大阪
コール無條件	七	五、〇
翌日物	六、〇〇	五、〇〇
六十日物	一、三五	
普通割引歩合	二四、〇	二二、〇〇〇

京城勞銀昂騰

朝鮮土木協會の調査によれば三月上旬京城に於ける勞働賃銀は解氷期の接近と共に漸次昂騰氣味にて大工、煉瓦職、ペンキ塗工力職等最も建築界に關係ある業種は五十錢乃至一圓五十錢方昂騰を示せり今內鮮人別に表示せば左の如し

	內地人	朝鮮人
大工	四、〇〇	二、五〇
左官	四、五〇	三、〇〇
石工	四、五〇	三、〇〇
木挽	三、五〇	二、〇〇
瓦葺職	五、〇〇	四、〇〇
煉瓦職	四、〇〇	三、〇〇
ペンキ塗	三、三〇	二、〇〇
鐵力職		二、三〇

內鮮人貯金 著しく增加

朝鮮全道に於ける二月末現在の內鮮人貯金高は一千六百九十八萬四千六百圓十四錢七厘預入人員百三十九萬一千七十六名にして之を前年同月末現在の貯金高一千四百五十萬四千三百八十六圓九十七錢八厘預入人員百四十萬九千九百三十九人なりしに比せば金額に於て二百四十八萬二百十三圓十六錢九厘の增加を人員に於て一萬八千八百六十三人の減少を示せるが內鮮人貯金高對照表左の如し

	十年二月人員	同上貯金高	九年二月人員	同上貯金高
內地人	三三二、九六六	一四、二三八、六六五圓	一〇三六、〇〇六	一六、九八四、六〇〇
朝鮮人	一〇五八、〇〇六	二、七四五、九四四	一三九一〇七六	一四、五〇四、三八六

（内鮮計／內鮮人の欄の數字は判讀不確實）

金剛砂

▲本日から本欄に於て金剛砂と名打つて財界の出來事や諸名士の行動に就て所謂財界無駄話をする▲古語に曰く大きいが眞の金剛石でさへ磨かざれば光なしと言はれて居る況んや砂に於てをや▲精々よさそうな所を御目に懸ける事にしよう▲固より儲ける積りは少しもないから其處は世間並に薄利多賣とし財界の影響如何によつては時に投げ賣りをするかも知れないと先づ開店披露を濟ませて……サテ▲殖產銀行では本年新採用の行員に對して各課の課長連中が六ヶ月間は業務上の講演をするそうだが至極の思ひ付と存ずる▲よくある事だが各銀行會社では故參連が新規採用者に對して『君一寸頼む』なんて算盤を突き付て昨日迄は主人として居た名譽ある新法學士などを面喰はせたりするのは惡い洒落だ▲兎に角課長連か業務上の手引をするのは行員養成上の好個の典範である

株式（十一日）

現株市場出來値

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取 引寄	三二・四〇	三三・四〇	三三・二〇	三三・〇〇
殖新 引寄	一八・三〇	一八・三〇		
東新 引寄	一九・七〇		一九・一〇	
京新 引寄		三三・三〇		三三・三〇
仁取 寄	一〇九・〇〇	一一〇・〇〇	一一〇・〇〇	一一〇・〇〇
鮮銀 引寄	四五・一〇		四五・一〇	
同新 引寄	一〇		一〇	
殖銀 引寄	三三・三〇		三三・三〇	
貯銀 引寄	九・四〇		九・三〇	
商銀 引寄	四四・六〇			
同新 引寄	二一・七〇		二一・七〇	
漢銀 引寄	三八・一〇		三八・一〇	
同新 引寄	九・七〇		九・八〇	
韓銀 引寄	三六・〇〇		三六・四〇	
東拓 引寄	三九・〇〇			
鮮土 引崎	一〇・七〇		一〇・七〇	
朝紡 引寄	一九・四〇	一九・五〇	一九・〇〇	一九・〇〇
滿毛 引寄	一三・九〇		一三・五〇	
京信 引寄	四七・七〇		四七・七〇	
同新 引寄	三四・五〇		三四・八〇	
電興 引寄	七・〇〇		七・〇〇	
東亞 引寄				
朝煙 引寄	三九・五〇			
朝紙 引寄				
朝郵 引寄			三三・〇〇	
朝鐵 引寄	九・四〇		九・四〇	
中鐵 引寄				
滿鐵 引寄	三八・一〇		三八・一〇	
同新 引寄				

（數字は判讀不確實）

乙ノ部

銘柄	前場	後場
安取 引寄	三一・九〇 三〇・〇〇	三一・五〇 三一・七〇
大新 引寄	九三・五〇 九三・三〇	九〇・三〇 九〇・三〇
新東 引寄	一二・〇〇	九八・〇〇 九八・五〇
上取 引寄	七七・三〇 七七・四〇	七六・〇〇 七七・一〇

（數字は判讀不確實）

東京現株

銘柄	十一日前場	十一日後場
鮮銀	一三三・〇〇	一三一・〇〇
同新	四六・〇〇	四五・五〇
東拓	五九・〇〇	五九・〇〇
同新	一八・〇〇	一八・〇〇
滿鐵	一一六・五〇	一一六・〇〇
同新	二六・〇〇	二五・五〇
殖銀	五四・〇〇	五三・〇〇
同新	一六・五〇	一六・〇〇
東株	一三五・〇〇	一三五・〇〇
同新	一〇〇・五〇	九八・二〇
遞取	四七・〇〇	四七・〇〇
滿毛	一六・〇〇	一六・〇〇
朝紡	一八・〇〇	一八・〇〇
日紡	九八・〇〇	九八・〇〇

大阪株式

銘柄	十一日前場寄付	十一日前場大引	十一日後場寄付	十一日後場大引
大株	一三〇・〇〇	一三一・二〇	[illegible]	一三〇・二〇
同新	九三・九〇	九四・一〇	[illegible]	九三・九〇
郵船	…	…	[illegible]	一三一・九〇
同新	…	…	六三・〇〇	五四・〇〇
商船	…	…	…	…
同新	…	…	…	…
鐘紡	二七〇・五〇	二七一・六〇	…	二七一・二〇
同新	二六〇・一〇	二六〇・〇〇	二五七・四〇	二六一・六〇
東紡	一一四・六〇	一一四・〇〇	一一二・八〇	一一四・六〇
東糖	八一・二〇	八三・三〇	八一・七〇	八五・〇〇
上取	七七・五〇	七七・三〇	七六・九〇	七七・四〇

安東株式

	寄付	大引
○十日後場 安取當	三三・二〇	三三・〇〇
安取先		
○十一日前場 安取當	三三・〇〇	三二・九〇
安取先		

前場無活氣

相變らず內地の弱保合を移して市況引立たず前日來崩れ足を見せたる京取は引續き軟調を呈し殊に今週物は週末關係の手仕舞賣に壓されて二圓四十錢迄押したるが二圓臺は遲氣筋に買拾はれて九十錢を返し八十錢と引け四十錢安來週は二十錢安の三圓四十錢と寄り五六十錢方氣弛みし其他は一二十錢の小動きに保合ひて乙部に移りしが安取は京取安を眺めて買氣更に引立たず今週二十一圓九十錢を寄値に始め跡ジリ／＼崩れて五十錢を値に七十錢と引け來週二圓に寄り一圓九十錢を覗き二圓と引け大新は大阪の三圓九十錢を入れて今週三圓三十錢に寄り二圓八十錢の安値ありて九十錢と引け五十錢安來週は三圓五十錢を始め七十錢と引け上取は今週七十七圓三十錢と始め四十錢安來週は三十錢安の四十錢安を示し閑散裡に大引せり

後場大新安

後場は京取續いて今週共に各二十錢方安く京紡五六十錢安其他一段に一二十錢小弛み安取亦二三十錢安を示し前勢更に振はざる中にも大新は大阪の次第弱きを恐怖投げを喚び彼の地の後場九十二圓三十錢に對して今週九十圓二十錢と寄り三十錢に引け來週九十圓二錢方引戾し來週九十圓丁度に大引

二圓八十錢安

二圓六十錢方

低落し

孰れも大阪より下輩に先走り新東今週九十八圓五十錢上取今週七十圓、來週九十八圓十錢來週七圓十錢と五十錢安

小相場觀流行

金融緩和と財界安定で買上げられた相場が綿絲安と買過ぎの反動で叩かれて仕舞つた今日一般仲買人の頭腦は漸く冷靜に復つたもの丶如く內外財界現況や各事業會社の狀態等を綜合して見ると當分は未だ大した相場は期待し難いから時に觸れ人氣が片寄つた所があつたら夫れに向つて行くに限ると云ふやうな所謂小相場觀が追々流行せん振合のあるは波瀾の跡に現はれる人氣の常であるが之を以て見ても當分は保合の外なしと思ふのは小相場觀に馴れ又市況の撰買が自然旺盛となつて品質の良好成績の宜しい株は買はれ然らざるものは賣物を誘ふことゝなつて正確な評價判斷が現はれて來ることになるかも知れない買方なるもの自重して進むべしと古老は云ふ

大新相場局限

鐘新と對立して人氣の焦點となる大新は依然として地方筋の買物絶えるのみか鐘紡の兎角綿業悲觀に累せらるゝに反し大新は此懸念なく專ら改築樂觀の下に益々買氣を增すの傾向がある共に今一つ仲力の添はぬ嫌のあるのは矢張り株式數量の多きと觀株に比し割高にある關係上何處となく賣物出で來る結果で此點よりすれば無雜作の人氣相場も望み難いと同時に買氣の集注し易き現狀にては安値も望まれず結局或範圍の高下に局限された趣がある而して相場が此範圍を離脫するの時ありとせば右は問題の改正案と交換所の解決を見るか或は地方筋の滿腹する時であらうと

獨逸再攻擊觀

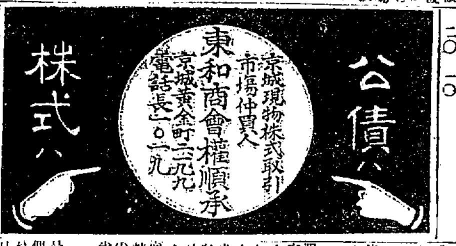
獨逸に對し英佛聯合軍は都市の占領をなし再開戰の態度を示したと大戰報があつた之れが若し再度の大戰となり得れば露國の現狀を要せず又歐洲に出兵なとも要せず我日本は何等過境に對する準備でも非常に樂な立場にあると云ふのであるまいがそれ經濟的影響は前戰時中の樣にはあるまいか我財界は再度の活躍を希望するから戰爭の擴大を希望するものが多いが然りと誰も獨逸は到底開戰し得べき實力なきまいから斯かる希望を持つ事は不可能であると觀測されて居る

增資程度觀

取引所法改正に伴ふ交換所買收が決定した以上取引所の增資も必然的な道理で增資程度が如何なるかは未だ決定して居らぬ尤も大株は交換所に對し大新を百圓として四百五十萬

北濱たより

每度報じて居る取引所政治問題は其半面の消息は極めて紛糾錯綜して居るが此抱擁問題は由來大株側の自衛上發生した問題で交換所側では此抱擁談は御互に氣に召さればこそ談さないよとまで何等の必要に據つて提起した事であるに合併條件がお互ひ▲兎角大株側は肝心の取引所改正問題がモノにならなければ▲之れがモノにならなければ自然市場の統一が出來ぬ次第だから必死の運動を施行して居る形勢であつて理事者側は各要路に向つて働きかけて居るが前途は大いに注目の要がある大株側の一理事曰く交換所もさるもので……先づ商賣大切と積極的に活動する積りだ



京取現在手口

株は八千萬圓との噂があり大株は從來東株に比し五百萬圓だらうと一般に見られて居る

昨十日午前迄に於ける京取の賣買手口左の如し

今週物（賣方）池田五〇▲有田二〇▲金龍一二五〇▲川崎一三七〇▲中津留一四四〇▲金秀五二〇▲權六七〇▲井口五〇▲渋二五〇▲方一〇〇▲白井二九〇▲田中一五〇▲櫻谷一一〇（買方）南五六〇▲渋一三〇▲吉見二六四〇▲高松七四〇▲大島七〇▲北村九六〇▲新田三四〇▲井口三四〇▲有田一〇▲中津留四九〇▲趙六〇

來週物（賣方）吉見七〇〇▲有田六〇▲金龍八三〇▲高松三〇▲保野九〇▲櫻谷六五〇▲方一八〇▲龍三二〇▲池田九〇▲白井一八〇▲井口三〇▲田中五〇▲金秀九〇（買方）渋三一〇▲高松一四〇▲北村三四〇▲中津留五四〇▲櫻谷▲南六九〇▲吉見四〇▲大島五〇▲趙一▲川崎一二五〇▲新田二〇

主要株歩ミ値段

前場

京取（今）三三、四〇 三〇 五〇 七〇 八〇 九〇 八〇（來）三三、五〇 ……
安取（今）二一、九〇 八〇 七〇 ……
大新（今）九三、〇〇 二九〇 八〇 九〇（來）三三、四〇 ……

後場

京取（今）三三、二〇 …… 六〇 七〇（來）……
安取（今）二一、五〇 二〇 三〇 四〇 ……
大新（今）九〇、二〇 ……

（數字は判讀不確實）

米況（十一日）

仁川期米

前場頭重し

前日阪地の止め安に買方一部の嫌氣投げが喚起して二十圓堅割れの十九圓九十二錢と脆く崩れ五錢と反撥力鈍く止め折揃り跡各地正米の鈍狀を裏くのを按にて阪地の氣配安に今朝は尙買氣添はず立會へは當中出來ず先十九圓九十四錢と二丁安に寄付きたり

▲第二節 氣配よかの二十四圓八十九錢を受けしかば二十五錢と始め先九十三錢より二十圓丁度と跳返しも戻りは買氣添はず更に八十九錢と押し九十六錢と氣迷裡に引

▲第三節 當中出來ざるも先九十錢に始め買方一齊見送りにジリ安の八十錢と押し三錢と益々氣乘薄に引

▲第四節 當中出來ざるが先八十三錢より大阪跡九十錢に一錢と疑上げ十九圓九十九錢を喚び二十圓〇一錢と蹴上

▲第五節 當川來ず中十九圓九十五錢先九十九錢より二十圓丁度と小戻したるも忽ち割れの九十七錢と下押して引

▲第六節 當不出來ず中九十五錢先九十五錢より累初の賣いに八十七錢とジリ安を呈して大引せり

朝鮮活動株賣出

賣出株數 壹千株
賣出價格 平價以上
申込單位 五株
申込期間 自三月十一日 至三月十三日
取扱店 川崎、田中、有田、中つる、南、北村

後場小波瀾

買方 仝一〇〇▲田一、四〇〇▲五、二〇〇▲二、七〇〇▲一、五〇〇▲力九〇〇▲丸北、……〇〇〇

▲第一節 大阪前場八十七錢模寄の入電にて當中出來ざりしも先十九圓七十五錢と十二丁安

▲第二節 當中出來ず先限七十錢に始め大阪三節五十錢の早耳賣に見るも四十一錢と崩れ六十錢と跳返し

▲第三節 先五十九錢より五十七錢と不勢に傾きしも六十錢と返して引公定五十八錢

▲第四節 先五十五錢より四十七錢と追込みたるも九錢と返して引公定五十一錢

十二丁安

四十一錢と崩れ

十錢と跳返

期米雜觀

驕る者久しからずで釜山の正米がアレ程破竹の勢を以つて急騰したにも拘はらず忽ち小百丁も抛つて來るなど實力のない相場を無理に高く釣上げて見た處が長持のあらう筈がない▲昨後場から今朝にかけての不勢な眺めは弱氣屋連は弗々十八番の氣焔を吐きかけて居るさか斯ふなると買方も一寸甲斐に隠さでも背いたい氣味がすると云ふて一氣に百七八十丁も蹴上げた相場が半分位下押たとて何もさう慌てるには及ぶまい▲殊に買方にはソレ者の選り拔きが多い處米穀法案と云ふ釣鐘の鳴るのを豫期して居る連中ばかりとすれば些細の調子に投げ退くものとも見做し難い油斷は大敵注意が肝要だと云ふ向もある▲夫は兎に角として前日の重役會に仲買組合より持出された手數料の引上げ問題は殆んど仲買の要求通りに決議されたらしいが二十圓までは八圓との要求を二十五圓とし夫れ以上は五圓毎に二十五錢宛增す樣になつたさうだ▲又た大豆の手數料は日仕拂を三圓五十錢とし本手數を六圓と決定されたる由なるも取引所側と仲買の分配に就ては未だ發表せないので確言する事が出來ないも多分三圓五十錢に四圓五十錢の割りではなかろうかと觀測されて居る

阪地安に崩る

昨後場阪地二十五圓臺割れの移りに場面は買方一部の嫌氣投げを喚起して脆くも二十圓の大關門を打破り前途高を見越せる强氣筋の心膽を寒からしめたるのみか今朝も小口の嫌氣投げと共に阪地のヂリ安に十九圓八十錢と更に下押して……

强氣難平買

正米の行過ぎ反動に小口買方の嫌氣投げを喚起したる當市場は二十圓の大關門を無雜作に瓦解さしめ二十圓〇を根抵りせる强氣一派は容易に投退かず他迄難平的に買進みを遂行して今後の決戰を試みんとする意氣込みにて茲阪地と正米の成行如何を傍ら活躍の機會を狙ひつゝあるものゝ如し

買時期尙早

强氣一派が唯一の材料とせる米穀法案も未だ貴族院の難關を控へ居れる丈け決定的に安心買を許さゞるのみならず海外貿易は連月入超を示し綿糸の漲落歩調と諸物價の趨勢は漸次米安に均衡を得んとする形勢ある際なれば或は該法案は貴族院に於て握り潰しとなるやも知れずとの懸念を挾める向あるやにて戻りは其筋手筋の賣物に頭を壓へられ易き狀態となり强氣一派が焦れる割りに人氣の添はざるは大張眞の買出動の時期尙早といふの外なかるべし

小西一派買附說

最近小西一派の鮮米買附云々の噂傳はりつゝありしが今朝大阪電によれば然る形跡なく渡米の準備既に成り居れるとの事に人氣安の傾きありと

○十一日前場		▲十日後場
寄付	一九、九四	二〇、〇八
止値	一九、八七	一九、五二
高値	二〇、〇七	一九、九二
安値	一九、八〇	
前場公定値		後場公定値
一節	一九、九三	二〇、〇四
二節	一九、九六	一九、九二
三節	一九、八四	二〇、〇八
四節	一九、八八	一九、八九
五節	一九、九〇	一九、八〇
六節	一九、九〇	一九、九七

（數字は判讀不確實）

賣買差引殘

	當限	中限	先限
値段			
取組高	二千二百石	四萬〇五百石	十九萬六千八百石
出來高			

買方 ⑦一、六〇〇▲②一、三〇〇▲五〇〇▲六〇〇▲⑳五〇〇▲二〇〇▲全一、三〇〇▲丸九二〇〇▲入市……（判讀不確實）

京城延取引

玄米

期米の軟調に加へて釜山正米又續落を傳へて其他群山を始め各地一齊に惡化の報傳はりたるを以つて市場勢ひ人氣安合ひなるも氣配は四月末限十九圓八十九錢見當を唱へられ跡尙不勢の氣構へなり

大豆

取引不振の機先正米は漸次軟化の傾向となりしより軟弱氣一層減殺して殆ど進人なく今朝も引續き無商內を呈せしも共同荷主の實緩まざる爲め相場下進り金郊汗浦產地乘りの十圓四十錢處に釘付狀態なり

內地正米小康 東京一一錢安

內地正米小康を保ち今朝は東京一〇錢安の外大阪同事下關强持合ひを報ず

京城正米市場

釜山正米は昨今兩日に百六七十丁の暴落を演じ各地又た一齊惡化の模樣を移ある爲め當地氣配も之れに連れて現下賣物薄の際なる丈け比較的其影響微弱にして今朝は殆ど無取引ながら値が一二十錢安の地摺上米二十八圓四五十錢見當を支へて下進りの壁なりしが各地を通じて一時賣込の持米主も形勢の非なるに共に値下狙ひに賣放し來らんとする模樣もあれば漸次先行き懸念に氣落

南大門廻穀

白米持合ひ

二十五圓一杯

移出商談不振ながら大阪よりは引續き沖一等白米二十三圓三十錢にて商談の注文弗々入込みつゝあり市中卸値は一等白米二十三圓三十錢にて前日と變らず

仁川正米 一二三十錢安

定期の不勢と內地筋の買見送りに氣押け模樣となりし正米市場は相變らず買氣引立たず今朝は三等合格十九圓九十錢地摺玄米十八圓七十錢見當を唱へしも進人なく又た持主も二十圓割れは買惡り模樣にて自然取引閑散の見當なり

平澤白米二九〇叺▲同玄米一六一叺▲何古米六〇叺▲花子二〇叺▲山島玄米三五二叺▲金村玄米三五七叺▲鳥山玄米二八叺▲天安白米一〇叺▲平澤糯六叺▲郭山糯三叺▲鐵原小豆二〇叺▲鳥山米八叺

釜山正米 奧地よりの賣物續出 八九十錢安

奥地の反動安に漸落歩調を辿りつゝある氣先き本日の市場は値頃の賣物出しの一面內地より買氣減じ氣乘薄の市場は益不況なるより買手は引續き不況なる際大豆は引續き不況なるも幾分買ひ氣を催したるが結局顯保合の京釜線十圓二十五錢京義線十一圓所にて約五百叺の商談成立せり（十一日）

群山正米

內地正米の不勢と一時の行過ぎ反動により形勢益不良に傾き先物は三月末限二十圓二十錢四月中限二十圓二十三錢と下押し現物は四十錢安を告げたり（十一日）

東京期米

○十一日前場先限 寄付 二五・二一 二節 二五・三〇 三節 二五・二〇 四節 二五・一四 止め 二五・一〇 當限止め 二五・三〇 中限止め 二五・六〇 ……後場先限 二四・一五 二五・〇五 二五・〇七 二五・〇六 二五・一〇 ……

大阪期米

○十一日前場 當寄 二四・七五 止め 二四・七八 中寄 二四・八八 止め 二四・九六 先寄 二四・八九 二節 八九 三節 八七 四節 九一 五節 九四 六節 九四 七節 九一 八節 八八 九節 八七 止め 八七 ……後場 二四・五五 二四・六〇 二四・八六 二四・八三 二四・七五 二四・五九 二四・六一 ……

下關期米

○十一日前場 當限 三三・三〇 中限 三三・二〇 先限 三三・四〇 寄付 止め …… 後場 寄付 止め ……

大阪三品

倫敦銀塊相場三十一片八分の三 米棉七十錢安

	十一日前場寄付	前場大引
三月限	一八五・三〇	一八六・七〇
四月限	一九〇・八〇	一九〇・七〇
五月限	一九〇・六〇	一九〇・三〇
六月限	二〇一・〇〇	一九七・八〇
七月限	二〇二・〇〇	一九八・〇〇
八月限	二〇二・〇〇	一九九・〇〇
十一日後場寄付		後場大引
三月限	一七九・九〇	一六・七〇
四月限	一八一・四〇	一八二・三〇
五月限	一八一・八〇	一八二・二〇
六月限	一八二・〇〇	一八二・〇〇
七月限	一八二・八〇	一八二・八〇
八月限	一八二・九〇	一八二・〇〇

（數字は判讀不確實）

仁川米豆取引所仲買人 那須仲買店 仁川海岸通三丁目 電話長三三一、七六三 電略（〇）又八二

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助 仁川海岸町 電話長三六七、三六九 電略（ト）又（マルト）

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 三六八番

仁川米豆取引所仲買人 吉金仲買店 電話長八三番 八五番 長七六四番

仁川米豆取引所仲買人 布井仲買店 電話 二六四番 三五番

せきすい 同病にて手足ツリ腰足不隨腰肩疼痛病みシビレ等に効能正しき詳報兵庫縣明石市三番町元木米吉 有一錢切手封入申込次第

てんかん ヒッツク痼疾の全治藥切手添申込次第贈呈和歌山市片岡町全治者頗多 藥劑師富吉繁作

釜山商店案内

洋鐵鋼鐵道船舶建築 材料其他工業諸器械附屬品商 角野商店 釜山辨天町 電話三三番 振替京城一二一九

酒精・燒酎 西貢米碎米 大豆食料品 砂糖麥粉 雜貨 福榮商會 釜山埋立新町

洋酒・罐詰 糖粉・官煙 あづまや商店 釜山 電話三五九番 振替京城三九番

京日案内

採用 事務員若干名 希望者履歴書携帶本人來談ノ事 京城南大門驛前 松原運送店

店員 內地人入用 京城永樂町二丁目 パン製造元 神戶屋

採用 女計算係二名採用 記帳堪能者 保證人要二名本人來談 京城古市町十四番地 近藤運送店

チエ 沃度肺結核 喘息 肋膜炎 胃腸病 マチス 婦人科的病 リュー 仁川 松本醫院

古本 〇〇無比高價買入 〇御報次第早刻參上仕候 京城本町二丁目電話參〇九五 群書堂書店

毛皮 なめし仕立 鳥獸剝製標本調製 鳥毛皮買入 萬毛皮鳥毛商行 京城本町二丁目電話長〇六五番

求家 市內にて家賃三十圓位の家を求む御世話下さる方に失禮乍ら相當の謝禮仕候 京城本町一丁目 明治屋內渡邊

採用 女事務員 業務帳簿の整理 學歷書類の發送 勤務時間三時間 自筆履歷書御送付を乞う 京城古市町一九 自由研究社

募集 後藤式藏精術教授 療法諸病治療及延命 ニテ健康ヲ保持ス 視心身ヨリ化ニ 本町電車終點 不動誠心協會

募集 編輯部並經濟記者 希望者は履歷書携帶 午後一時より三時迄來談 京城黃金町三丁目永樂町角 事業之投資社

看護 婦及見習採用 希望者ハ直接來談アリタシ 京城府旭町一丁目 島崎病院

貸地 畑地面積貳千坪餘 但希望ニ依リ增減ス 場所京義線新設新村驛約三十丁北（南大門ヘ約二十丁）右希望者ハ來談アレ 櫻井町一九 入島善吉

商業登記公告 安城商業株式會社登記事項中取締役金泓大正拾年參月壹日辭任 支配人金泓大代理權消滅 大正拾年貳月貳拾日 右登記ス 大正拾年參月七日 京城地方法院安城出張所

苗木 櫻三、四、五年生 花著八重、一重 赤松、黑松、アガシヤ 果樹、其他盆栽種々 仁川敷島町 隱塚種苗園

金もうけ 誰れでも無資本同樣の小資本でスグ其日から意外の大金儲の出來る永久的獨占新事業藥品應用製造秘法を公開せる工藝化學案內書壹冊無代進呈ハガキ至急申込今特典有 東京本鄉區曙町日本通信藥學校

良い品を安く賣る 信賴すべき靴 新靴の魁 時代の要求により新式機械力を應用し完全無缺の靴を製作し紳士淑女學生諸氏の御用に應ず

ボックス短靴十圓半より十三圓 キッド短靴十二圓より十四圓 ボックス編上靴十一圓より十五圓 及十二圓十三圓 深ゴム靴十圓より十一圓 トゴム十三圓 同十四圓 ストキ十六圓 十六圓 本長靴 十一圓より二十三圓 高尚優美 として完全なる出景品 靴手入具一式（三種入）手入保存說明書添付此際御注文の方に 一千組限り進呈 御注文の節は靴の種類と足形を御送附申上候 定價表及型錄進呈郵券二錢要す 東京日暮里町谷中本十八 廣現社製靴所 振替東京二六五八一番

當ル三月十二日ヨリ 壽館 出雲名所ヲ活動連鎖トシテ寶寫イタシマス 安來節美聲會一行 本場出雲藝者五十餘名大一座 飛入藝妓半玉素人連中 餘興出雲ケン飛入勝利者ニハ各商店寄贈ノ懸賞ヲ差上候

債券 公債 簡易賣付 案內進呈 東京市麴町區內山下町（日本勸業銀行構內）電話三三六三 振替口座東京一八番 新橋三五七七 株式會社勸業債券月報社

◉貴命ニ應ズベク準備完了セリ 新學期ノ御用品ニ付テ 文部省御檢定濟 東京帝國大學御用 教育用掛圖 理化學器械及藥品標本模型 普通學校小學校 理科生徒實驗器械 普通學校小學校 生徒練習帳各種 大日本鉛筆製造株式會社製 生徒用鉛筆各種 生徒用運動具類各種 生徒机腰掛其他具類 ●見本及目錄御一報次第御郵送可申上候 京城長谷川町 中田普成社 電話四一九二番 振替六八二四七番

驚くべき米株界新發見 致富の秘訣成金の羅針 米株 必勝 致富の秘訣成金の羅針 株式期米少資本成功法 最新研究Z式買法定期米株式綿絲生絲市場應用大市法は勿論株式相場の高下を豫知す 小市法は每日の天底を知り每月五百圓〇資金參百圓位利益ある方式を說明書郵券十錢送れ 東京日本橋區蠣殼町四ノ二 電話浪花二一四八 實業通信社

曙（あけぼの）

第八十九回　德田秋聲　（挿畫）近藤紫雲

二人の秘密（6）

『さあ……』これには小山も遉に返辭を躊躇しない譯にはいかなかつた。

『そら御覧なさい。お前さんはやつぱり、絢子さんの味方なんだわ』

『そんな譯ぢやないんです』小山は譯もなく頭を掻き〱恐れ入るやうなしなをした。

『ぢや言つたら奈何？私ね、ちやんと知つてんのよ。絢子さんがそうツと出て、車にも乗らないで行つたのは。何處へ行つたか當て見ようか？』

到頭それを口へ出して了つた。と、脇の下からたら〱と冷汗が流れるのを彼は感じた。若奥様に、ほんとに濟まないと後悔されたが、しかし、今となつてはどうとも爲方がなかつた。小山は直ぐまた前者に押被せるやうにかう言つた。

『それも、今度の事件について何か依頼されるらしいのですから、實は若奥様の一存で……』

『然う』と、お須磨は頷いて『もつと、詳しいことを知つてるでせう？』

『いゝえ、それ以上は何にも知りません』

『…………』

『よう、そんなに私を焦らすもんぢやなくてよ』お須磨は一膝乗出して『それとも、お前さんは何かね、先刻私に言つたのは噓なの？私の味方になるなんてあんなにはつきりと言つたのは私を一時嬉しがらせるつもりだつたのね。……いゝわ、然うだわよ。私をかつぐ腹だつたのよ』

『奥さん、そ、そんなこと……そんなこと仰言つては、私困ります』小山は周章て、打消すやうに『そんな譯ぢや、決してないのです。實はその……若奥様の行先は……』

『口止されてるんでせう。そんなこと、ちやんと、私知つてるわ』

『は、いゝえ、その、實は、あの白井といふ人のところへ行かれたのですが……』小山は

『白井といふ人と、絢子さんとの間はどんなの。以前から何か關係があつたの』お須磨はわざと素知らぬ振りで、輕く訊いた。

『古いことは、私も知りませんので……』

『戀仲ではなかつたの』

『さあ』と、小山は首を傾けて『そんなことがあつたかも知れません。多分、叔母が知つてゐるだらうと思ひます』小山はそれまでは言ひたくないし、又よくも知らないので、巧に鉾先を避けて、叔母の方へ向けた。

『ぢやね』と、お須磨は小聲になつて『これからね、絢子さんと其の白井との間にね、何かあつたら、そつと私に知らしてくれない？、其代り私もお金で出來ることなら、どんなにでもお前さんの爲になるから……』

『はあ』

『どうせ何だわ、湯治場で媾曳をしてゐたくらゐの、あの人たちの間なんだもの、絢子さんが何をしてゐるくらゐは、私にはちやんと判つてゐるんですよ。お前さんたちはね、品行方正な若奥さまだと信じてゐるか知らないけれどもね、私の睨んだ目は外れませんよ』

『はい』と、言つたが、小山はお須磨の言方が餘りに野卑だと思つたので『それは、しかし、奥さまの誤解ぢやありませんか』

『なに、そんなことがあるもんですか、人はね、見かけによらぬもんですよ』お須磨は例の魅力的な表情で、押さわ付けるやうに言つて『まだ〱私はお前さんに話したいことがあるけどもね、お前さんも好く考へてね今のうち自分の氣を決めて了つた方が可いのよ』

と、彼女は帯の間から手の切れるやうな紙幣を三枚出して『さア此處に三十圓あつてよ』

『いや、しかし……』と、小山が躊躇するのを、お須磨は不意に起ち上つて、彼の傍にするゝと寄りながら『お前さんも餘程氣が小さいのね』無理に彼の手に握らせたお須磨は、矢庭に自分の興奮した頰を男の頰にひたと摺寄せて、男の唇を吸つた。はつと思つて、小山が起上らうとする刹那、遠く自分の名を呼ぶ聲が聞えた。二人は彈機に彈ねられたやうに、飛いて右と左へ離れた。頭の上で鯛が嘲けるやうに鳴いた。

日報詞苑

川柳　井上劍花坊選

寒い事

○　釜山　冷眼子

抱合の心中を見る寒い事

評、作者の感じはよくわかつてゐるがこれを第三者に傳へるに至つて聊か物足りなさがある。

○　成興　狂波

骸骨に皮があるので寒い事

評、原句は『痩せるべき骸骨なして寒い事』と有つた。

○　大田　牛歩

行倒れ默つて見てる寒い事

評、すこし樂屋落とは云へまいか

○　南川　駒子

寒い事財布にのこる五厘錢

評、たゞ窮窶といふよりも痛切である。

五の日十の日會句

二郎君江原道へ轉任送別を兼ねて

○　二郎

兄が力まかせの荷作り細の春宵

一夜の火鉢に二人の手のまちめさ

○　秋風巖

一、長男死す

雪鳴夜通し汝が遺稿を見ん

○　不考郎

二月つごもりの雷鳴に打たれ正しく

炭俵はたきしより納屋掃き出しだ

○　浮碧樓

柳につないで無雙想な女船頭だ

雛果ての男の髪はたれしづかなり

○　邑角子

春夜の救世軍の樂隊を覗いた者去る

醜さを嘲し春の日もすがらゐる奴

○　辰敏

草かげらへばはふもの尾を交はし

桃の節句の作り花碇りある夜

○　鳥堂

讀壯母が温突へ焚く木の話をしてゐる

雛過ぎての雛の美くしき夜

海苔商柒と沙漏つ一人で消る氣で居る

…一〇、三、五、…

京城短歌會詠草

（大正十年二月十三日開催）

巡査てふ先天的の恐れかも此の迷ひ兒は我れに親しむ　石井　龍史

河尻の丘に立ち割るきりぎしの赤土なれば水のにごる　松本　卿華

若芽ふく水の香ほのほの匂ひ來てものなつかしき春のあけぼの　名島　浪夫

入りつ日の河べりに凪をあげあつゝよばへども子らはかふらざりけり　貝谷　砂丘

我が戀ひたれさはなしに囁きて見えへ皆が頬笑みをする　伊集院燦陽

ゴム靴の破れしみじみ見てあればこの芝生に鳥死むで居し　黒島よしを

思ひつめては悔しきのみぞひさゝゝの堪へがたさなば何故堪ゆざりし　村田北呂夢

はるばると山國遠きふるさとの夜の静もり出鳴を聞く　高橋　幽波

わがおもひ今はひそめておりぬべくたまさかに來し夜　岡本　獣郎

入妻は色なき絲に十重二十重いましめらるさある夜暁きぬ　衣川　陶子

一色の繪なば畫きぬまづしさに慣れたりければ性質も變りぬ　百瀬　千尋

いい月夜ののさきも犬が鳴いてゐる四年の月日が夢のやうに流れた　永田　鈴丸

あるときは妻もたむなごとにしぬ命に住める不自由なる身は　加藤　松林

手紙書くと父には言へど歌想ひを走らす我を悲しむ　松永　素秋

にじみたる日輪さむみごつかりさ林の上に浮かびけるかな　佐藤　哲三

月見草がはら小石に挟まれて枯れるまゝに哀れ立ちたり　中村　百姓

久方に君の文來る偲ばれてふる日でさむ去年の默かな　野田　北影

徒らん

▲近年屢名士の講演を聽くことを得るは貧生輩の大に感銘に堪へざる所也。其都度慨歎を禁ずる能はざるは講演名士の態度頗る懇篤謙讓なるに反し聽講者の無禮尊大なる一事にして其證據を擧ぐれば脱帽の指示出づるまで帽子を冠り又はステッキを弄し煙草を喫し其他外套及びさんびを脱せず襟卷なし居る杯恰も寄席の見物人たるが如き觀あり殊に是等のもの、内には官吏あり教員ありて普通所謂平民と稱するもの寧ろ少きに至りては寄合所帯の殖民地氣分を露骨に發現し如何にも慚愧に堪へず大方の諸賢以て如何となす（一老生）▲京城食堂入口の便所を一度見給へ彼れでは大京城の眞中に惡疫の流行するは無理もない（田舍の截髮）▲朝新社川柳選者に就いての新川柳子は厳選を口に仕ながら其發表選を見るに實に噴飯を禁じ得ないものを佳句として並べ立てゝいる餘りに自己の子分のみに偏せず公平な選を望みたいものである此の點に至ると實に劍花坊氏等は實に厳選公平である京日川柳も今少し引續き募集發表の多からん事を望んでいる（一柳子）▲私は醫者より一生子供が出來ぬと宣告されました若い婦人ですが是非共愛らしき生後一年位いの女の子を一人貰いたいと思つて居ります御心當りの方は何卒御世話下さい（淋しき女より）▲イライ〱した氣分を理性で強く抑へて居ると色々な詩や歌が生れます境遇や思想の違ふに伴つて皆様の人生觀も種々なる方面にあると思ひます斯うした詩歌を各自に批判を試みる事が出來ましたら愉快と思ひます同好の方は本欄へ方法は其後（高木咸二）

毛布は極度の大暴落

信用の關谷から直接買へば市價の半値段

經濟界の不況 金融の梗塞は眞先に機業界を襲ひ暴落に暴落を重ね特に我が毛布界に於ける損害は莫大なるものなり製造家も問屋も仲買も破産倒産頻々として現はれ再起の見込なく青息吐息の窮境で從て製造休止の有樣である幸に弊店は此大暴落の原毛をメッチャに安く取入れた結果新安値を極力製織して居る次第である

製造直接販賣 は中間口錢が無い丈けでも需用者に利益であるが弊店は自家工場製の暴落原料を以て製織せられたものを殆んど廣告的に製産實費を以て五萬組を限り破天荒のドン底暴落値段で直接需用者に一組賣を開始ぜんとするのである

優良品大廉賣 は弊店が他店の眞似し能はざる自家工場製造なるとドン底暴落の原毛買占めの結果であるが商慣による仲買や小賣店渡しの貸賣の危險を犯すより寧ろ直接販賣の自他の利益なるに着目せるがためである勿論製品の優秀なるは世既に定評あり今更喋々を要せざるも蒲團代用敷物代用旅行用等に用ひて毛立ち工合最もよき極上製品である市場に散在する安物買いの暴落し的の粗製濫造品の小判ものと同一視する勿れ

五萬組限　製産實價の大廉賣

二枚續き　鼠毛布	定價 甲二圓二十錢	特二圓七十錢
二枚續き　茶毛布	定價 甲三圓三十錢	特四圓五十錢
二枚續き　白毛布	定價 甲五圓八十錢	特八圓八十錢
二枚續き　ラクダ毛布	定價 甲七圓五十錢	特十圓五十錢
二枚續き　赤毛布	定價	特五圓五十錢

注文はハガキにて入用品名と價格を記し御申越次第代金引換にて品質吟味の上發送す而して御購入後でも現品は廣告通り非常の格安でなき時は返金交換とも隨意であるからコンナ安全な買物は又とない斯く天荒の大廉賣と製造高に限りあり賣切れぬ内今直に御注文下さる御實驗の上御高評を乞ふ

毛布製造發賣元　東京市日本橋區本石町壹丁目十番地　關谷商店　電話本局長一二三四番　振替東京四四一三

痔疾專門　京城久枝肛門病院

京城明治町二丁目　電話二一〇三

資本金六百萬圓

（明治三十八年設立）

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通二丁目十四番地　株式會社漢城銀行

頭取　男爵　李[illegible]　專務取締役　韓[illegible]　支配人　[illegible]

振替口座京城二〇一　電話長六〇〇

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山

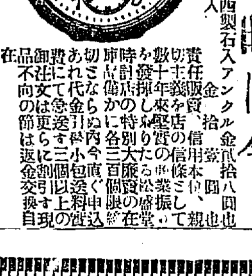
出張所所在地　東京、東大門、東萊、平壤大和町、西大門

時計界の惰眠を破る！

◎空前絶後の大廉賣　◎好期逸する勿れ　時は今！

▲十八金十六形梨地專賣側瑞西製石入アンクル　金貳拾八圓也

▲銀側十六形專賣アンクル石入　金拾壹圓也



責任販賣、信用本位、親切主義を店是として數十年來堅實の營業振りを發揮し來れる松盛堂時計店の特別大廉賣には各三百個限り……代金引換小包送料込……御注文は急送す……不向の節は返金交換仕候

東京市本所區柳島元町　松盛堂時計店　振替口座東京五參參壹番　電話本所一五七八番

セメント瓦

特許セメント瓦　京城明治町一丁目　特許セメント瓦製造株式會社　電話長九三七番　電話龍山二四四番　電話龍山九一八番

眼科專門　金井眼科醫院

京城若草町（新町裏通り）若草町電一五五六　◎入院隨意　◎日曜祭日診察午前中

商標　忠

お臺所改良の第一歩と　ふじ忠醬油　御愛用を乞ふ

釀造元　大田本町二丁目　辻謹之助

京城古市町電話二七五六　畑兄弟硝子工場　主　畑六一

工場特製人蔘エキス瓶…其他一般の御注文に可應候

中島病院

京城府本町一丁目（本町明治屋横より入）　内科小兒科　中島病院　院主　中島貞信　入院隨意（普通病室　隔離病室）

片山内科醫院

京城舊山町一丁目六番地（天眞樓ヨリ西二軒目）　入院隨意　電話一九五一番　片山信夫

岡田博士證明

腦病良藥　レーベン

腦神經衰弱に惱む人!!

失敗　失望　苦痛　不幸　不運

頭痛●眩暈●逆上●記憶力減退●元氣消耗　短氣●倦怠●氣鬱●精神朦朧●不眠　生殖器障害●婦人とステリー●便秘腦充血

是れレーベンを用ひぬ人!!

健腦強精に微笑む人

成功　發展　歡喜　幸福　成運

頭腦明晰●記憶旺盛●精神爽快　元氣潑溂●能率增進●意氣昇天　安眠●健腦強精●快樂●愉快

是れレーベンの愛用者!!!

（定價）五十錢　一円　二円　三円　五円半　拾円

本舗　東京市京橋區弓町二十二　中南定太郎　（振替東京七七七番）（長電話京橋三〇八・四六八九）

支店　大阪市東區安土町堺筋　中南定太郎　（振替大阪三四四四番）（長電本局三〇〇七）

一番（いちばん）よくきく　アレ止（どめ）は

クラブ洗粉（あらひこ）本店謹製の

クラブ美身クリーム

此のクラブ美身クリームは素顔の美を增し、白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも

皇后宮職御用品

たるの光榮を辱なうしつゝあり……